

市町村名	豊見城市
------	------

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-①	とみぐすく祭り・とみぐすく産業フェスタ事業	新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ウ
担当部署名	総務企画部 商工観光課	事業実施(予定)年度	平成25～令和13年度	多彩かつ質の高い観光の推進
			沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(1)

事業内容
県内外及び国外へ、本市の成長力、若い力及び市特産品を広くアピールするとみぐすく祭り・とみぐすく産業フェスタの開催にあたり、実行委員会へ負担金を交付する。

効果発現年度
 当年度 後年度(年度)

実施方法
 直接実施 委託 補助 負担 その他()

		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a) 当初予算額	25,000			24,000	
		(b) 予算現額	25,000			24,000	
		(c) 増減額 (b-a)	0			0	
		(d) 繰越額	0			0	
		A. 計 (b+d)	25,000			24,000	
	B. 執行済額		22,893			20,338	
	うち交付金充当額		18,314			16,270	
	次年度繰越額		0			0	
	執行率 (%) (B/A)		91.6%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	84.7%
	予算の状況の説明		実行委員を組織し、事業計画通りに執行した。				

活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)	達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
		とみぐすく祭り・とみぐすく産業フェスタの開催	目標	()	()	()
	実績				開催	
	目標	()	()	()	()	
	実績					
達成状況説明	とみぐすく祭り・豊見城産業フェスタ開催について、遅滞することなく負担金を交付し、祭りを開催することができた。					

成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)	基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)	
		とみぐすく祭りの来場者数	目標	()	()	()	(60,000人)
		実績	/			51,520人	/
		目標	()	()	()	()	()
	実績	/				/	

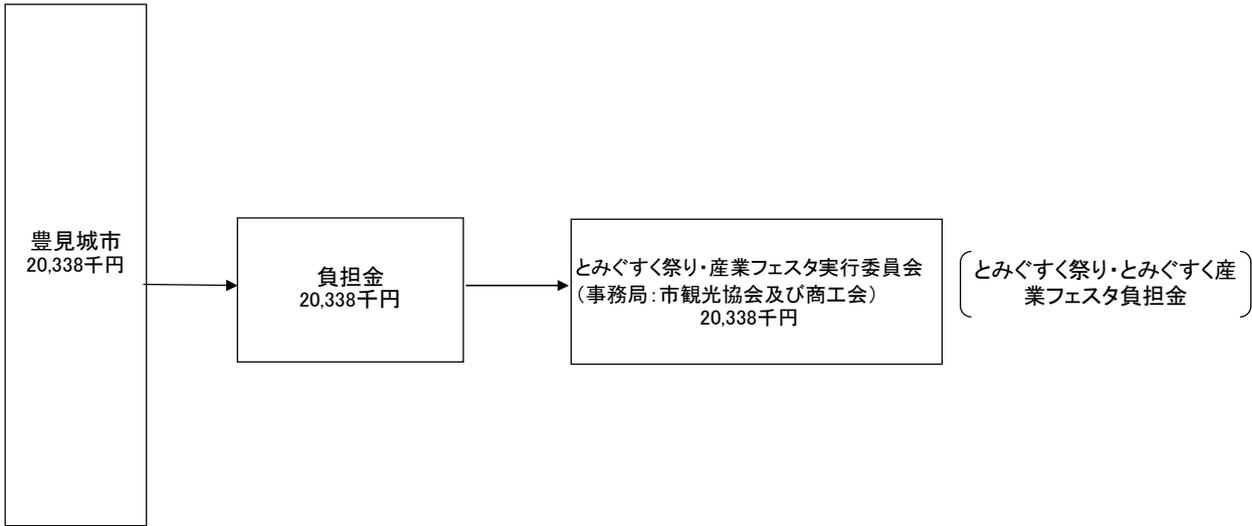
進捗状況説明	・有名アーティストのキャスティングや、SNSの活用等による広告プロモーションの展開による広い周知を行ったが、当日、天候不良の影響から、目標としてた来場者数に届かなかった。
--------	---

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・とみぐすく祭りととみぐすく産業フェスタをエリア分けし、同時開催した。 ・一般駐車場と2ヶ所の臨時駐車場の確保等により、2日間を通して近隣道路への違法駐車も無く、運営する事が出来た。 ・警察署指導の下、通行禁止区域(歩行者天国)を設けたことで、臨時駐車場への歩行者の往来が信号に関係なく案内誘導することが出来た。 ・当日、気温が低く、来場者より寒いとの意見が多かった。また、風が強く、テント等の設営物に影響があり、安全面を考慮する必要があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・美らSUNビーチを会場として実施するのであれば、気温、強風による安全面の考慮等の観点から、夏場の開催を検討する。

今後の取り組み方針
・駐車場の確保や歩行者の往来における安全面だけでなく、クーリングスペースの設置等の暑さ対策も考慮しつつ、夏場開催の検討を進める。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
20,338	20,338	16,270	4,068	0



資金の流 れの点 検・費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○規則に沿った事業執行であるため、負担先の選定方法は妥当である。
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○出展店舗の見込が難しく、出展料等の関係で一部返還は生じたが、予算規模は概ね適正であったと考える。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○規則に基づいた支出となっているため、受益者との負担関係は妥当である。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○実績報告等をもとに、事業の運営に必要な経費にかかる支出であることを確認できた。

市町村名 豊見城市

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

Table with 4 columns: 事業番号・事業名 (1-③, 豊見城市観光施設環境美化強化事業), 担当部課名 (経済建設部 公園緑地課), 事業実施(予定)年度 (令和4~令和13年度), 新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所 (第4章-3-(2)-ア), 沖繩振興基本方針該当箇所 (III-1-(1))

事業内容 豊見城市内の観光施設の環境美化強化による魅力的な景観形成を目的として、広場等の環境美化作業(清掃・剪定・植栽等)を実施する。

効果発現年度 ■当年度 □後年度(年度)

実施方法 □直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()

Table with 7 columns: 予算額・執行額 (単位:千円), R4年度, R5年度, R6年度, R7年度, R8年度. Rows include (a)当初予算額, (b)予算現額, (c)増減額(b-a), (d)繰越額, A.計(b+d), B.執行済額, うち交付金充当額, 次年度繰越額, 執行率(%) (B/A), and 予算の状況の説明 (事業計画通りに執行した。)

Table with 5 columns: R5活動目標(指標), R4年度, R5年度, R6年度, R7年度. Rows include 市内観光施設における広場等の環境美化実施 (目標, 実績) and 達成状況説明 (豊見城市観光施設環境整備業務委託として、瀬長島及び豊見城城址の広場等の清掃・剪定・植栽等を行った。)

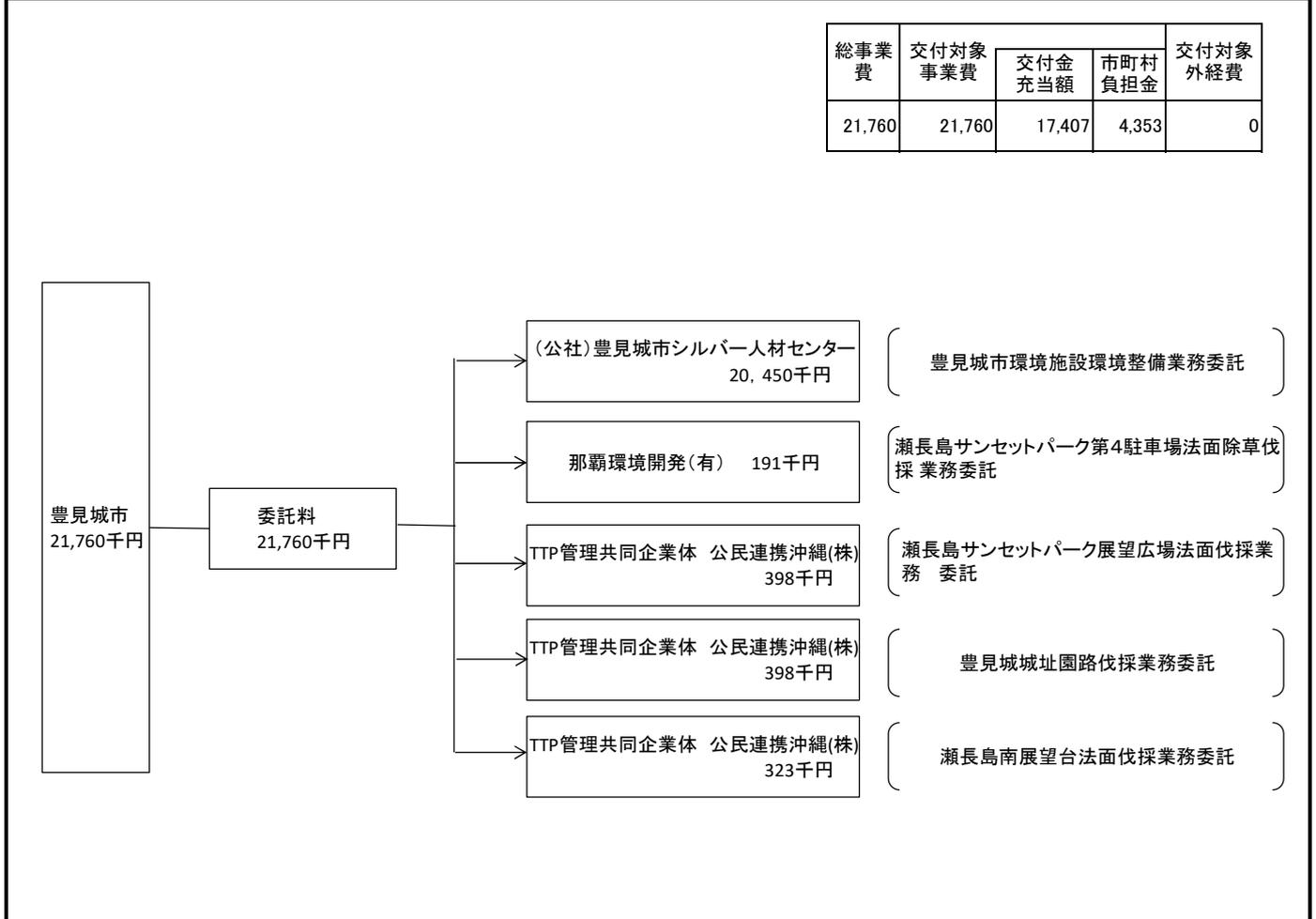
Table with 7 columns: R5成果目標(指標), 基準値(年度), R4年度, R5年度, R6年度, 目標値(年度). Rows include 来訪者に対し、観光地としてふさわしい景観形成を感じるか(80%以上)を含め、アンケート調査により、本事業のあり方について検証する。 (目標, 実績) and 成果目標(指標)及び進捗状況 (目標, 実績)

進捗状況説明	施設利用者に対し、観光施設としてふさわしい景観形成を感じるか(80%以上)を含め、アンケート調査(満足度)を行い、観光地としてふさわしい景観(植栽管理・清掃等)となっていると感じるとの回答が81%となり、成果目標を上回った。
--------	--

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	新型コロナウイルス感染症収束後の来島者の増加による観光地環境の変化に注視が必要。	除草・草抜・剪定処理量やゴミ処理量の推移、最適な清掃回数等の内容を検討しながら、継続的な環境美化作業を行っていく。

今後の取り組み方針
清掃委託業者への聞き取りを行いながら、最適な清掃回数等の把握に取り組む

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は、地方自治法施行令第167条の2第1項第3号等により随意契約しており、妥当であったと考えている。 ○予算は、委託業務等積算基準書などより算定していることから、予算規模は事業内容と見合っていると考えられる。 ○費目、用途について、事業目的の観点から額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	豊見城市
------	------

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-⑦	豊見城市観光PR事業	新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ウ
担当部署名	総務企画部 商工観光課	事業実施(予定)年度	令和4~令和6年度	沖繩振興基本方針該当箇所
				多彩かつ質の高い観光の推進
				Ⅲ-1-(1)

事業内容 首都圏在住者に対し、身近に豊見城市の雰囲気を感じることのできる物産展と本市の観光・文化等についてのPR展等を実施する。

効果発現年度 当年度 後年度(年度)

実施方法 直接実施 委託 補助 負担 その他()

		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況 (a) 当初予算額	20,649	10,282			
	(b) 予算現額	20,071	10,282			
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 578	0			
	(d) 繰越額	0	0			
	A. 計 (b+d)	20,071	10,282			
	B. 執行済額	20,065	9,823			
	うち交付金充当額	15,529	7,859			
	次年度繰越額	0	0			
	執行率 (%) (B/A)	100.0%	95.5%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	予算の状況の説明	事業計画通りに執行した。				

活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)	達成状況			
		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		首都圏にて物産展及びPR展を行う。 達成状況説明 神奈川にある京急川崎駅にて、3日間で豊見城市の観光PR、市内「特産品販売および紹介」・「事業者商品販売」・「観光スポットの紹介」を実施した。	目標 (3回) 実績 3回	目標 (1回) 実績 1回	目標 () 実績

成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)	基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)	
		実施場所における来場者数 首都圏 5,500名以上(3日間)	目標 () 実績 /	(17,500人)	(5,500人)		
		【後年度効果発現】 県内 入域観光客数	目標 () 実績 /		(7,100,000人)		
					8,235,400人		

進捗状況説明	実施会場において集計をした結果、1日目で253人、2日目で2,313人、3日目で3,052人が来場した。
--------	--

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・駅のホームを会場とし電車(4車両)を留め置きし開催した。1市町村で駅のホームを借上げた事例は無いとの事から集客に多少の不安はあったが、結果は大成功のイベントであった。 ・昨年度は、その場で味わえる飲食ブース等が無かった事から今年度は出展協力業者の協力により、中味汁、アゲ豚のフランク、沖縄そば(カップ麺)、ちゅうらトマト、忠孝、オリオンビール等を用意したところ、開始とともに人が流れ込み、温かい食事とお酒を楽しんでいただけた。飲食ブースは2日分用意していた食材が1日で完売となり急遽追加の発注を行った品目も多数あった。他の物産ブースも事業者の方々が直接、売子として接客して頂いたため(沖縄空手会館・(株)Honey Fusion・瀬長島47STORE・沖縄アウトレットモールあしびなー)集客や売上も前回のPR事業より向上がはられた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・出展協力業者の拡充 ・ファミリー向けコンテンツの充実(塗り絵、ワークショップ等の用意により、ファミリーに居心地良い会場を目指す) ・会場の装飾物の工夫(市の観光スポットに関心が高まるようなイベント装飾の仕掛けづくりを目指す)
今後の取り組み方針		
<p>次年度以降も、東京圏において、市特産品等の物産展を行うとともに、SNS等の媒体で本市の景勝地及び特産品のPR広告等を併せて行うことで、「とみぐすく市」の認知度向上を図る。また、多くの方が本市での観光を来沖の目的としてもらえるように、継続的に本市のPRを行う</p>		

資金の流れ																
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">総事業費</th> <th rowspan="2">交付対象事業費</th> <th colspan="2">交付対象事業費</th> <th rowspan="2">交付対象外経費</th> </tr> <tr> <th>交付金充当額</th> <th>市町村負担金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">9,977</td> <td style="text-align: center;">9,823</td> <td style="text-align: center;">7,859</td> <td style="text-align: center;">1,964</td> <td style="text-align: center;">154</td> </tr> </tbody> </table>	総事業費	交付対象事業費	交付対象事業費		交付対象外経費	交付金充当額	市町村負担金	9,977	9,823	7,859	1,964	154			
総事業費	交付対象事業費			交付対象事業費			交付対象外経費									
		交付金充当額	市町村負担金													
9,977	9,823	7,859	1,964	154												
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 100px; margin: 0 auto;">豊見城市 9,823千円</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 150px; margin: 0 auto;">委託料 9,710千円</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 200px; margin: 0 auto;">(有)ウエスト沖縄・(株)ヒマラヤ・京急アドエンタープライズ・(一社)豊見城市観光協会 共同企業体 9,710千円</div>	} 豊見城市観光PR事業運営業務													
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 150px; margin: 0 auto;">旅費 113千円</div>	} 普通旅費	} 交付対象外経費 154千円													

資金の流 れ、 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者はプロポーザル方式で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、事業者からの見積を参考に、仕様の内容に応じて積算しており、適正であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		豊見城市				
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】						
事業番号・事業名	2-①	特別な支援を必要とする子の巡回相談事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-2-(2)-ア	
担当部署名	こども未来部 保育こども園課	事業実施(予定)年度	平成26～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	子ども・子育て支援の充実	
事業内容	<p>公立・法人認定こども園及び公立・法人・認可外保育施設における「特別な支援を必要とする子」への保育・教育の充実ときめ細かい対応及び早期発見を図るため、臨床心理士の専門指導員を配置し、相談・支援を行う。</p>					
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()					
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	(a) 当初予算額	5,729	3,111		6,267	2,938
	(b) 予算現額	5,729	738		2,030	2,938
	(c) 増減額(b-a)	0	▲ 2,373		▲ 4,237	0
	(d) 繰越額	0	0		0	0
	A. 計(b+d)	5,729	738		2,030	2,938
	B. 執行済額	5,035	0		852	2,538
	うち交付金充当額	4,028	0		681	2,030
	次年度繰越額	0	0		0	0
	執行率(%) (B/A)	87.9%	0.0%	#DIV/0!	42.0%	86.4%
予算の状況の説明	事業計画通りに執行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)	達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	臨床心理士配置:1名(就学前)	目標	(1人)	()	(1人)	(1人)
		実績	0人		1人	1人
	目標	()	()	()	()	
	実績					
達成状況説明	令和4年度は4月から臨床心理士を1名配置できたが体調不良を理由に9月末で退職となったが、令和5年度は4月17日～令和6年3月末まで採用できたため年度を通して巡回相談や発達検査を実施できた。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)	基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)
		目標	()	()	(80%以上)	(80%以上)
	実績			保護者:84.4% 保育士:78.3%	保護者:81.1% 保育士:79.7%	
	【参考指標】 「特別な支援を必要とする子」への対応や保護者への相談・支援件数	目標	()	()	(200件)	(200件)
実績			386件	467件		
進捗状況説明	<p>市内保育施設及び入所児童数の増加に伴い発達の気になる子どもも増加傾向にある。巡回相談においても相談・支援件数が前年よりも更に増えている状況です。アンケートの結果、保育士の満足度が79.7%と前年度よりも上昇した。全体として満足度は80%を越えているものの、対象者ごとでも80%を超えるよう意見を分析して今後の満足度向上につなげたい。</p>					

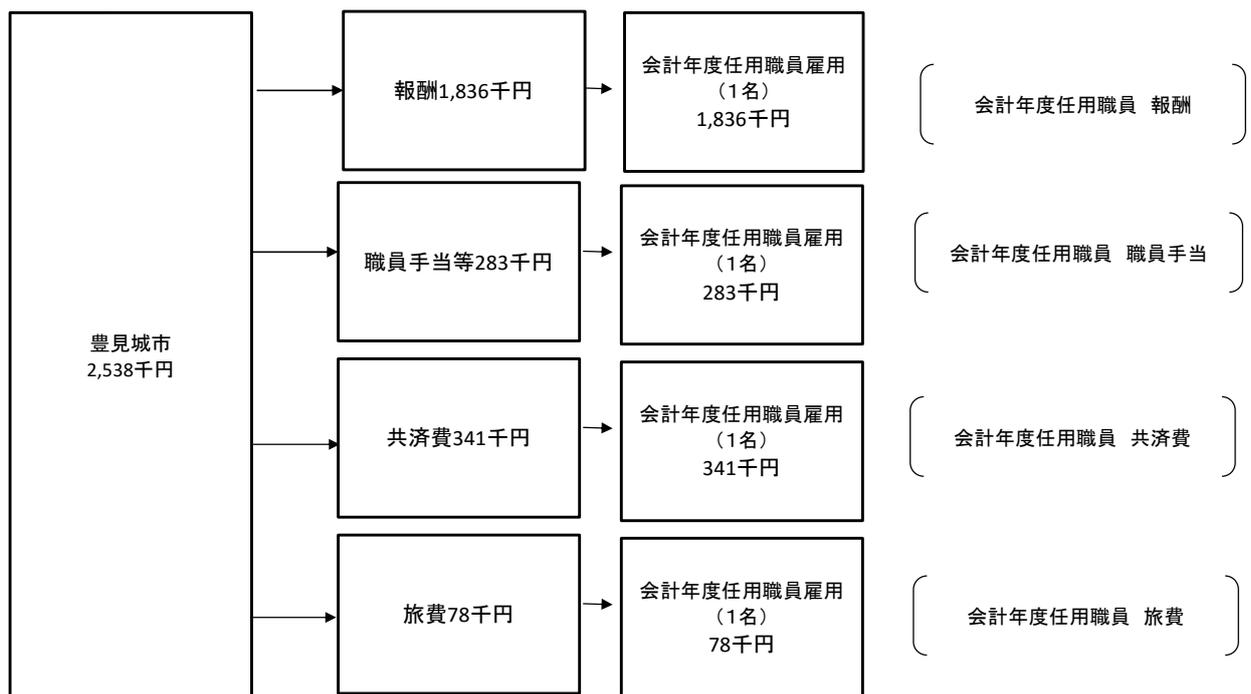
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	①巡回相談及び個別の相談件数ともに増加傾向にある。 ②気になる子の増加に伴い、気になる子とのかかわり方及びその保護者への声かけが難しいと保育士からの相談が絶えない。	①年度当初から確実に2名体制で事業が実施できるよう、事業内容の見直しを図り安定的に人材確保ができる体制を検討する。 ②関係機関との連携強化や研修への参加により臨床心理士のスキルアップや質の向上を図る。

今後の取り組み方針

①巡回相談事業の内容見直しや相談対応などを工夫することで、より事業の成果が出せる取り組みを目指す。
 ②ティーチャーズトレーニング研修を活用し、保育士の質の向上に繋げる事で、保育業務における不安解消を図る。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金	市町村負担金	
2,538	2,538	2,030	508	0



資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○臨床心理士の採用については、豊見城市で規定している要領(豊見城市会計年度任用職員の任用に関する要領)に基づき面接を行って採用している。 ○予算規模は、臨床心理士の人件費として最低限必要な報酬、社会保険料の支出に限定されており、適正である。 ○費目・用途については、出勤簿や業務日誌等の書類により確認し、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	豊見城市
------	------

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2-②	発達支援保育事業	新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-2-(2)-ア	
	子ども未来部 保育子ども園課			子ども・子育て支援の充実	
担当課名	子ども未来部 保育子ども園課	事業実施(予定)年度	令和4~令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-4-(2)

事業内容
支援を必要とする子を預かる施設を対象に、受入れ体制の整備ができるよう、加配保育士等の人数に応じて補助金を交付する。

効果発現年度
 当年度 後年度(年度)

実施方法
 直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額 (b-a) (d) 繰越額 A. 計 (b+d)	35,800	113,850				
		54,000	105,006				
		18,200	▲ 8,844				
		0	0				
		54,000	105,006				
	B. 執行済額		46,338	101,209			
	うち交付金充当額		37,070	80,967			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率 (%) (B/A)		85.8%	96.4%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	予算の状況の説明 給与が補助基準額である月額150,000円を下回る加配保育士がいたことや、4月から年間を通しての配置ではなく年度途中から加配保育士を配置をした園があったことから、実施月数に変動が生じたため8,844千円の減額を行った。						

活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)	達成状況				
			R4年度	R5年度	R4年度	R5年度
		加配保育士配置数 69名	目標 (79人) 実績 65人	(69人) 82人	() ()	() ()

達成状況説明
 ・今年度から補助基準額を見直したことで、発達支援保育事業を実施する園における人件費の負担軽減につながり、加配保育士数が増加した。

成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)		
			加配保育士の対応への満足度(80%以上)を含め、対象となる児童保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	目標	()	(80%)	(80%)	()	()
				実績	/	97%	87%	/	/
			【参考指標】 ・加配保育士の配置割合 市内障害児(対象児)に必要な加配保育士の人数に対する実際に配置できた人数(85%以上)	目標	()	(85%)	(85%)	()	()
実績	/	86.67%		100%	/	/			

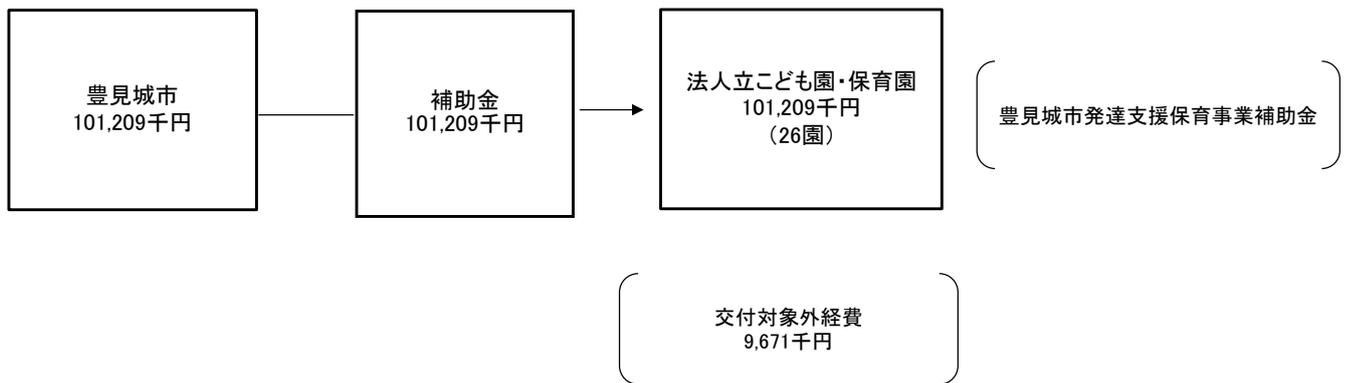
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・対応への満足度については、令和6年2月に保護者に対してアンケートを実施した結果、30名から回答を得られ、そのうち87%が満足と回答した。 ・市内の対象児(特別な支援が必要な児童)に対する加配保育士の配置割合は、100%であった。
--------	--

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>(加配保育士の対応への満足度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加配対象児童として判定を受けた保護者の不安感を加配配置により軽減できたことが満足度向上の一因だと考えられる。 <p>(加配保育士の配置割合)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別な支援が必要な児童が年々増加傾向にあることに伴い、より多くの加配保育士を配置する必要がある。 	<p>(加配保育士の対応への満足度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加配保育士向けの研修を実施し、加配保育業務における不安解消を図り、保育体制や内容を向上させることで、満足度の向上につなげる。 <p>(加配保育士の配置割合)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の保育士確保対策とも連携し、保育士の十分な確保に努め、十分な数の加配保育士を確保につなげる。

今後の取り組み方針
<p>(加配保育士の対応への満足度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果からは、保護者の安心感につながり成果目標を達成できたと思うが、今後は高い満足度を維持していくために、加配保育士向けの障害児保育支援者育成事業(ティーチャーズトレーニング)を実施し、発達支援保育の課題整理や改善策への理解を深めていく。 <p>(加配保育士の配置割合)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年々増加傾向にある特別な支援が必要な児童の受入れ体制を整備していくために、引き続き保育士確保のための保育士試験対策講座事業や保育士宿舍借り上げ支援事業を継続実施していく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
110,880	101,209	80,967	20,242	9,671



資金の流 れ、費 目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○豊見城市発達支援保育事業実施要綱に基づき、市内認可園を対象としており、妥当であると考えます。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は、過去の実績を基に加配保育士数を積算しており、適正であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○対象児童受入のための人件費のうち1人あたりの上限金額を設定し補助しているため妥当であると考えます。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○使途については精算段階で検査を実施しており、目的を実施するため必要なものであったと判断した。

市町村名	豊見城市
------	------

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	3-①	特別支援教育支援員配置事業	新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(2)-エ
担当部課名	教育部 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成28～令和13年度	時代の変化に対応する魅力ある学校づくりの推進
			沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(1)

事業内容
 小中学校に対し特別支援教育支援員を配置し、特別な支援を必要とする児童生徒の支援を行う。

効果発現年度
 当年度 後年度(年度)

実施方法
 直接実施 委託 補助 負担 その他()

		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況					
	(a) 当初予算額	52,975	67,157	74,124	73,250	83,819
	(b) 予算現額	42,226	44,977	66,095	60,758	83,819
	(c) 増減額(b-a)	▲ 10,749	▲ 22,180	▲ 8,029	▲ 12,492	0
	(d) 繰越額	0	0	0	0	0
	A. 計(b+d)	42,226	44,977	66,095	60,758	83,819
	B. 執行済額	36,238	41,213	62,046	57,833	56,971
	うち交付金充当額	28,990	32,970	49,636	46,266	45,577
	次年度繰越額	0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)	85.8%	91.6%	93.9%	95.2%	68.0%
	予算の状況の説明	特別支援教育コーディネーターは年度当初から配置できたが、特別教育支援員については年度当初から欠員や育休等で未配置があり、最終的な配置人数も29人となったため、欠員分等の報酬で26,848千円の不用額が生じた。				

活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)	達成状況			
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
特別支援教育支援員配置数:33人	目標	(30人)	(30人)	(29人)	(33人)
	実績	26人	29人	30人	29人
特別支援教育コーディネーターの派遣による教育相談、指導助言、面談等の実施:1人	目標	(1人)	(1人)	(1人)	(1人)
	実績	0人	1人	1人	1人
達成状況説明	特別支援教育支援員については、欠員や育休等で未配置のところもあり、最終的には28人任用となった。特別支援教育コーディネーターについては、年度当初より人材確保し配置することができた。				

成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値(R1年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)
			特別支援教育支援員の対応への満足度(80%)を含め、保護者アンケートにより本事業のあり方を検証する。	目標	(80%)	(80%)	(80%)
	実績	82.6%	81%	80%	73.9%	/	
	目標	()	()	()	()	()	
	実績	/	/	/	/	/	

進捗状況説明

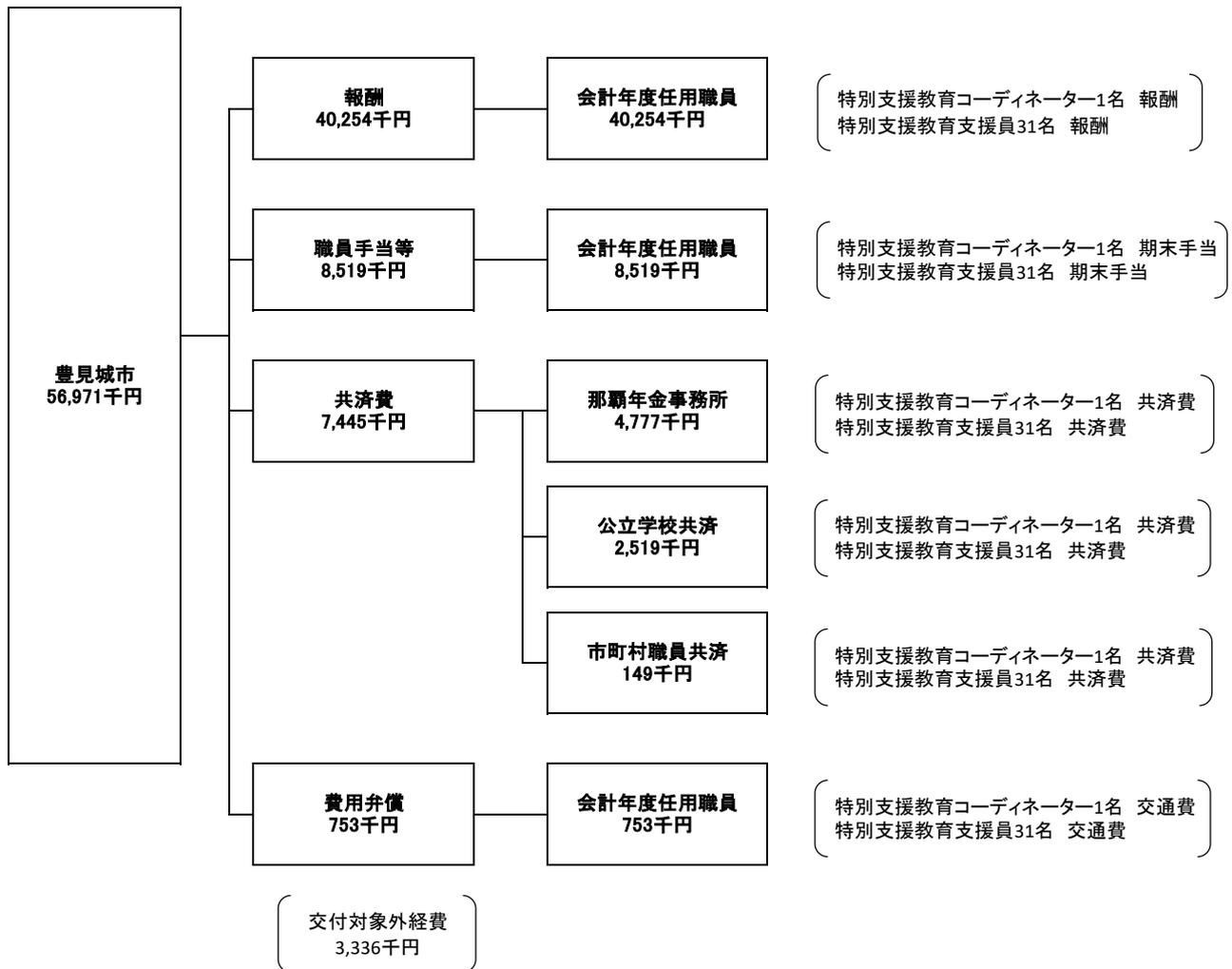
特別支援教育支援員の支援を受けている児童生徒135人の保護者にアンケートを実施した結果、46人の保護者より回答があった。特別支援教育支援員の配置により児童生徒の成長に対し「大変満足している」が30%（14人）、「概ね満足」が43%（20人）となり、73%（34人）の方が効果を実感いただいている結果となった。

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・支援員配置に対する満足度が目標値に達成していない原因について、対応を検討する。 ・特別な支援を必要とする児童生徒の地域小中学校への就学希望が増えており、進学・進級先等について保護者と十分協議する必要がある、今後も支援員の必要性が増してくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援員配置の満足度は目標値に達していない。児童・生徒の支援事項の共有方法及び支援員の対応を検討する必要がある。 ・当初計画とおりの支援員が確保できていないため、年度当初より支援員を確保する必要がある。
	今後の取り組み方針	
<p>本事業の更なる充実を図るため、特別支援教育支援員のスキル向上のための研修会を引き続き実施するとともに、年度当初から特別支援教育支援員を配置できるよう求人案内を従前の方法に加え、WEB等を活用した新たな求人方法を取り入れ幅広く採用情報を提供していく事とする。また、人事評価制度と昇給制度を活用する。</p> <p>さらに、令和5年度に正規職員として公認心理師を配置したことに加え、令和6年度からは会計任用職員の公認心理師1人を雇用することにより、各校校内委員会への関りを強化し、児童生徒への対応について学び、スクールソーシャルワーカー、福祉部局とも連携し支援体制の強化を図っていく。</p>		

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
60,307	56,971	45,577	11,394	3,336



資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○特別支援教育支援員の採用については、豊見城市で規定している要領(豊見城市会計年度任用職員の任用に関する要領)に基づき面接を行って採用している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○賃金・報酬額等は豊見城市の規則に基づいた算定額であり適正であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については、出勤簿や業務日誌等の書類により確認し適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	豊見城市
------	------

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	3-②	学力向上サポート事業	新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(2)-ア
担当部課名	教育部 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成24~令和13年度	沖繩振興基本方針該当箇所
				確かな学力を身に付ける学校教育の充実
				Ⅲ-3-(1)

事業内容
 小中学校の教員の補助として学力向上推進補助員を配置し、きめ細かい支援を行うことで学力向上を図る。
 また、学力到達度調査を実施し、課題のある教科・分野を見だし、指導改善を図る。

効果発現年度
 当年度 後年度(年度)

実施方法
 直接実施 委託 補助 負担 その他()

		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a) 当初予算額	22,909	26,579	28,631	34,653	35,139
		(b) 予算現額	22,392	22,561	25,550	31,920	35,139
		(c) 増減額(b-a)	▲ 517	▲ 4,018	▲ 3,081	▲ 2,733	0
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
		A. 計(b+d)	22,392	22,561	25,550	31,920	35,139
	B. 執行済額		21614	22103	24,439	30,115	28,131
	うち交付金充当額		17291	17682	19,551	24,091	22,504
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		96.5%	98.0%	95.7%	94.3%	80.1%
	予算の状況の説明		当初計画では学力向上推進補助員を11人雇用予定し採用に至ったが、年度途中で退職者や育休等が出て欠員が生じたことから、欠員分の報酬等において7,008千円余の不用額が生じた。				

活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)	達成状況			
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
学力向上推進補助員配置数:11人 小学校:8人 中学校:3人	目標	(小学校:8人 中学校:3人)	(小学校:8人 中学校:3人)	(小学校:8人 中学校:3人)	(小学校:8人 中学校:3人)
	実績	小学校:8人 中学校:3人	小学校:8人 中学校:3人	小学校:8人 中学校:3人	小学校:8人 中学校:3人
全国標準学力調査の実施 小1~中2:年1回	目標	()	()	(1回)	(1回)
	実績			小1~中2:1回	小1~中2:1回
学力調査の実施 中3:年1回	目標	()	()	(1回)	(1回)
	実績			1回	1回
達成状況説明	年度途中で退職者2人、育休等1人が出たため、追加の募集を行ったが欠員のままとった学校が3校あった。小学校1年生から中学校2年生までを対象とした全国標準学力調査を実施した。中学校3年生を対象とした学力調査を実施した。				

成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値(R1年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)
			沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 小学校:+2.6ポイント 中学校:+0.0ポイント	目標	(小:+2.8 中:+1.9)	(小:+2.7 中:+0.6)	(小:+2.8 中:+0.0)
		実績	小:+2.9 中:-0.7	小:+2.0 中:-2.6	小:+2.5 中:+0.5	小:+1.7 中:+1.7	
		目標	()	()	()	()	()
	実績						

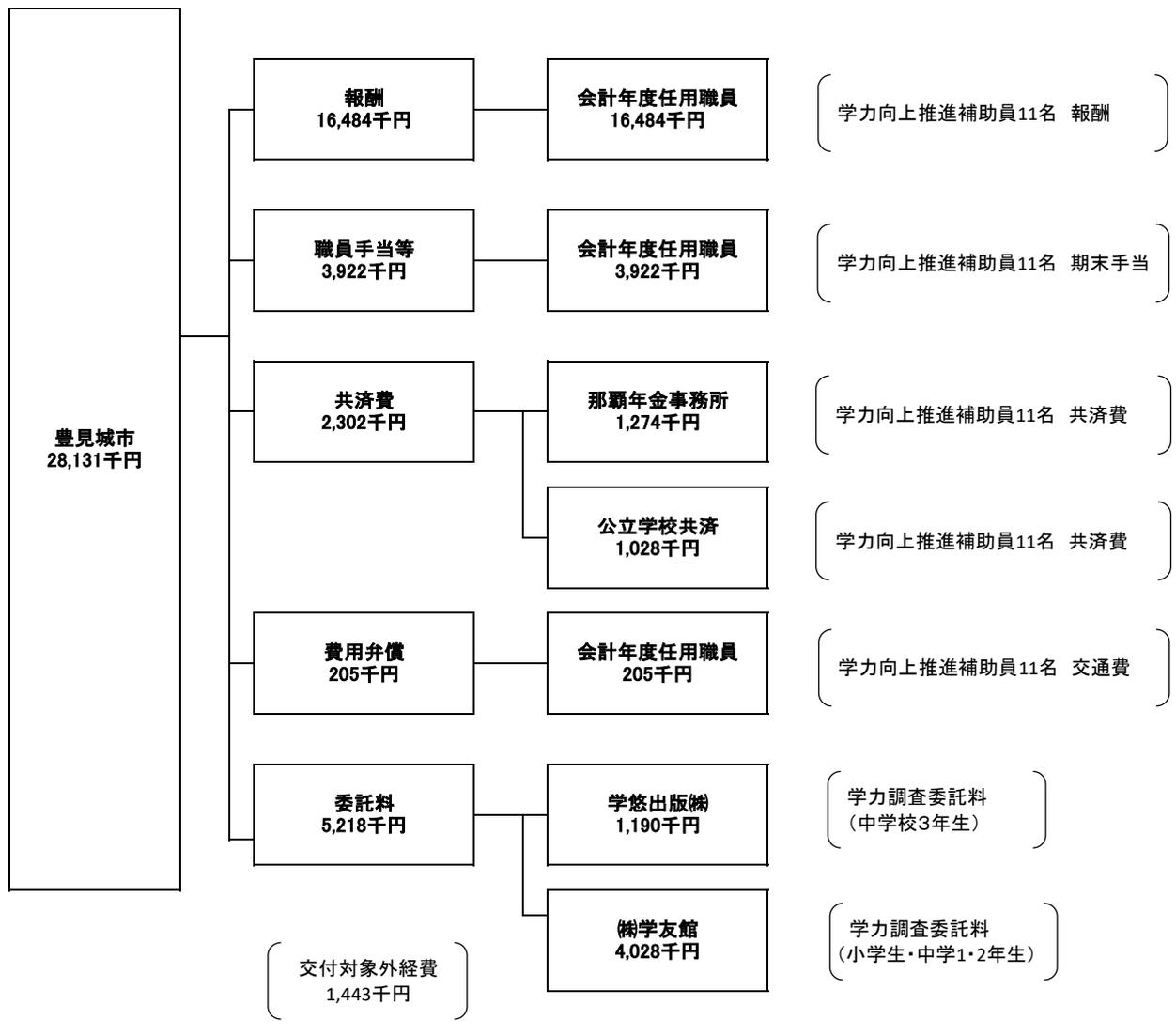
進 捗 状 況 説 明	<p>小学校 小学5、6年生を対象に実施した学力到達度調査において県平均59.2ポイントに対し市平均が60.9ポイントとなり+1.7ポイント市平均が県平均を上回った。</p> <p>中学校 中学1、2年生を対象に実施した学力到達度調査では、県平均44.5ポイントに対し市平均が46.2ポイントとなり+1.7ポイント市平均が県平均を上回った。</p>
----------------------------	--

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	各中学校の状況を確認すると、全ての教科で県平均を上回っている状況である。しかし、令和2年度、令和3年度は県平均を下回っていた調査結果が、令和4年度においては県平均を+0.5ポイント、令和5年度においては+1.7ポイント上回っていることから、継続した授業運営の補助が一定程度効果を発揮していると考えられる。	教諭との連携や教材研究等によるスムーズな授業運営の補助ができるよう補助員のスキル向上の取り組みが必要である。

今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> ・ポイントが上がっている学校の支援方法や、各学校での効果的な取組を共有し、可能なことから各学校で実施する。 ・教諭との授業連携をスムーズに行えるよう、教育委員会が進める学力向上施策の情報共有を図るとともに、個々に応じた学習支援を実施する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
29,574	28,131	22,504	5,627	1,443



資金の 流れ、 費目・ 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○学力向上推進補助員の採用については、豊見城市で規定している要領(豊見城市会計年度任用職員の任用に関する要領)に基づき面接を行って採用している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○委託業者は地方自治法施行令第167条の2第1項第2号により随意契約しており、賃金・報酬額等は豊見城市の規則に基づいた算定額であり適正であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については、出勤簿や業務日誌等の書類により確認し適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名 豊見城市

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	3-③	スクールソーシャルワーカー配置事業	新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(2)-イ
担当部課名	教育部 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成27～令和13年度	沖繩振興基本方針該当箇所
				豊かな心と健やかな体を育む学校教育の推進
				Ⅲ-3-(1)

事業内容 問題を抱える児童生徒を取り巻く環境(家庭や友人関係等)の改善のためスクールソーシャルワーカーを配置する。

効果発現年度 当年度 後年度(年度)

実施方法 直接実施 委託 補助 負担 その他()

		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a) 当初予算額	5,900	6,998	7,812	7,902	8,006
		(b) 予算現額	5,900	6,162	5,855	6,214	8,006
		(c) 増減額 (b-a)	0	▲ 836	▲ 1,957	▲ 1,688	0
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
		A. 計 (b+d)	5,900	6,162	5,855	6,214	8,006
	B. 執行済額		5,706	6,003	5,527	5,864	5,715
	うち交付金充当額		4,564	4,802	4,421	4,691	4,572
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		96.7%	97.4%	94.4%	94.4%	71.4%
	予算の状況の説明		年度当初はスクールソーシャルワーカー3名でスタートしたが、年度途中で1名欠員が生じたため、2,291千円の不用額が生じた。				

R5活動目標(指標)	達成状況				
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
スクールソーシャルワーカー3人を中学校区ごとに配置し、小学校8校と中学校3校を巡回する。	目標	(3人)	(3人)	(3人)	(3人)
	実績	3人	3人	3人	3人
	目標	()	()	()	()
	実績				
達成状況説明	年度当初は3人のスクールソーシャルワーカーを採用する事ができ、市内小中学校に巡回配置する事ができたが、10月に欠員が生じたため、年度末まで2人体制となった。				

R5成果目標(指標)	達成状況					
		基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)
支援対象ケース改善率:51.8%以上 (改善ケース件数/支援対象ケース件数)	目標	()	(40.1%)	(48.4%)	(51.8%)	()
	実績		51.9%	70.6%	30.40%	
	目標	()	()	()	()	()
	実績					

進捗状況説明

支援対象件数148件中、問題が改善された件数16件、状況が好転した件数29件となり改善率30.4%で目標未達成となった。

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)

改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)

取組の検証

- ・状況が好転されたケースについても問題改善へとつながらず長引くケースがある事から引き続き支援が必要となる。
- ・年々、支援対象件数も増加傾向にあり、多種多様なケースへの対応が求められる。
- ・年度途中での欠員が生じた場合の体制についても、学校と確認が必要である。

- ・スクールソーシャルワーカーを継続雇用し、長引くケースへの支援継続を図る。
- ・多種多様なケースに対応するため、スクールソーシャルワーカーの質向上に向けた研修などの機会を設ける事を検討する。
- ・欠員の場合の体制について対策を検討する。

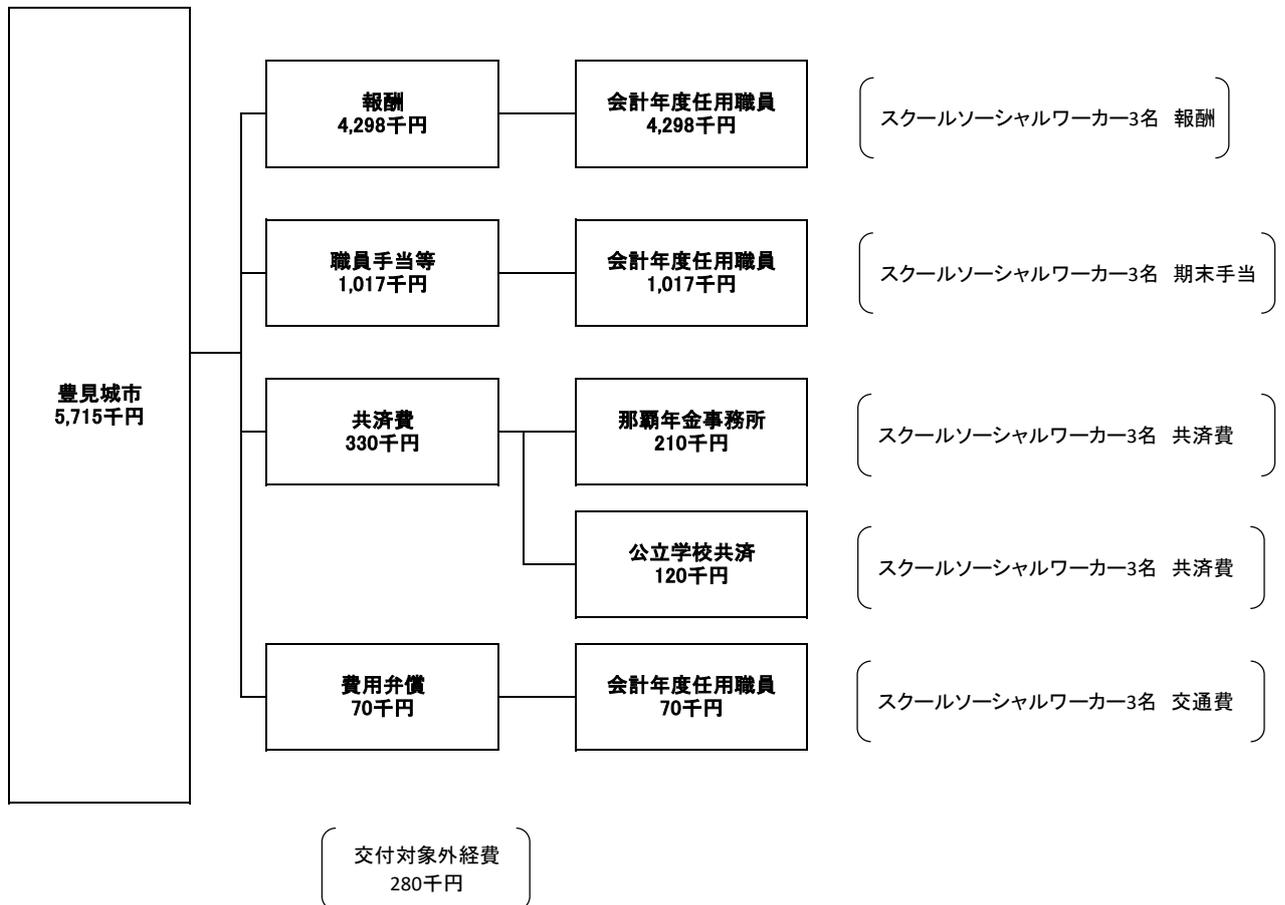
今後の取り組み方針

支援対象件数が増加傾向にある事から、スクールソーシャルワーカーのスキルアップにつながるよう、県主催の研修会への参加や、庁内関係部署との情報共有、緊急対応が必要な場合に備えた業務用携帯電話の配布など、スクールソーシャルワーカーが活動しやすい環境を整えていく。

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
5,995	5,715	4,572	1,143	280



資金の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○スクールソーシャルワーカーの採用については、豊見城市で規定している要領(豊見城市会計年度任用職員の任用に関する要領)に基づき面接を行って採用している。</p> <p>○賃金・報酬額等は豊見城市の規則に基づいた算定額であり適正であった。</p> <p>○費目・用途については、出勤簿や業務日誌等の書類により確認し適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	豊見城市
------	------

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	3-④	不登校等対策支援事業	新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(2)-イ
担当部課名	教育部 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成24～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所
				豊かな心と健やかな体を育む学校教育の推進
				Ⅲ-3-(1)

事業内容
 教室に入ることのできない生徒に対する別室支援を行うため中学校へ学習支援員を配置するとともに、不登校の児童生徒の居場所として設置している適応指導教室へ学習支援員を配置する。また、不登校対策として小学校に対し登校支援員を配置する。

効果発現年度 当年度 後年度(年度)

実施方法 直接実施 委託 補助 負担 その他()

		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a) 当初予算額	10,049	15,112	16,485	16,945	16,775
		(b) 予算現額	9,550	11,394	14,720	12,231	13,300
		(c) 増減額(b-a)	▲499	▲3,718	▲1,765	▲4,714	▲3,475
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
		A. 計(b+d)	9,550	11,394	14,720	12,231	13,300
		B. 執行済額	9,456	11,175	13,851	11,568	10,568
		うち交付金充当額	7,565	8,940	11,080	9,254	8,455
		次年度繰越額	0	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	99.0%	98.1%	94.1%	94.6%	79.5%
		予算の状況の説明	学習支援員(中学校)は全中学校へ配置できたが、登校支援員は5校未配置でスタートし、最終的に2校未配置のみであった事から3,475千円を減額した。				

活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)	達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
		学習支援補助員配置数:3人 中学校:1人 適応指導教室:2人	目標	(中:1人 適:2人)	(中:1人 適:2人)	(中:1人 適:2人)
	実績	中:1人 適:2人	中:1人 適:2人	中:0人 適:2人	中:1人 適:2人	
登校支援員配置数:8人 市内8小学校に1人ずつ配置	目標	(8人)	(8人)	(8人)	(8人)	
	実績	8人	8人	8人	6人	
達成状況説明	適応指導教室に配置する学習支援補助員は配置できたが、登校支援員は5校未配置でスタートし、年度末も2校未配置のみであった。					

成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)	基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)		
		不登校児童生徒復帰率:20%以上 (学校復帰人数/新規不登校者数)	目標	()	(20%以上)	(20%以上)	(20%以上)	()
			実績	/	23.53%	15.10%	18.10%	/
			目標	()	()	()	()	()
	実績	/	/	/	/	/		

進捗状況説明

小学校では不登校児童141人に対し6人が登校復帰した。また、中学校では不登校生徒207人に対し57人が登校復帰した。

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	コロナ禍を経て、学びのスタイルが多様に変化している中で不登校児童生徒の増加が続いている。	計画どおりの支援員配置の取り組み、切れ目のない支援を行う必要がある。

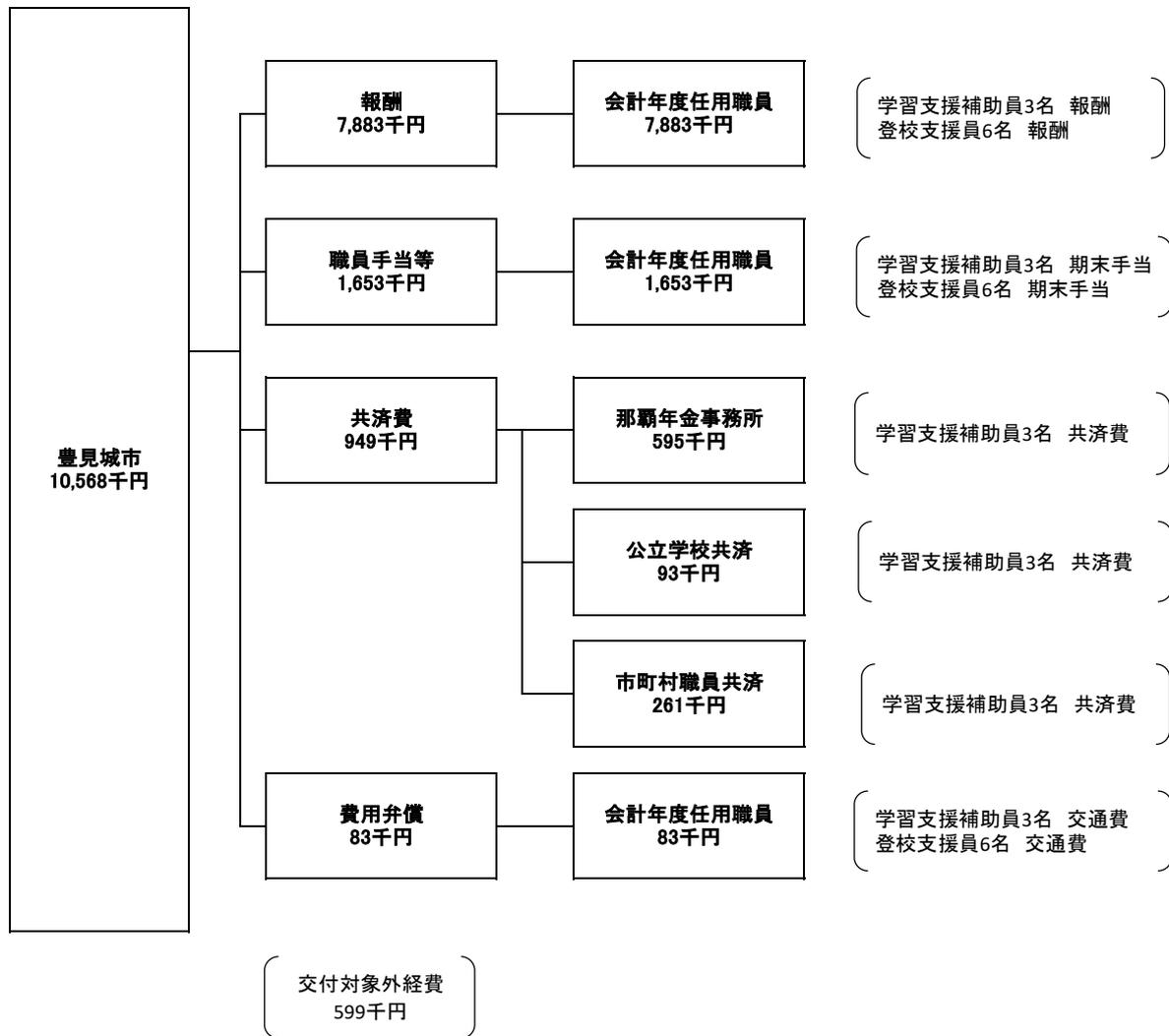
今後の取り組み方針

不登校対策は初期段階から切れ目なく継続して支援する必要がある事から、支援員の継続雇用へとつながるよう学校側と連携し働く環境の充実に努めるとともに、支援員採用に際してはWEB等を活用するなど幅広い層へ働きかけ、人事評価制度や昇給制度を活用しながら有能な人材を継続して雇用できるよう取り組む。
また、令和5年度からは正規雇用で公認心理師を雇用しており、引き続き登校支援員のサポート支援も強化していく。

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
11,167	10,568	8,455	2,113	599



資金の 使途の流れ、 費目・ 点検評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○学習支援補助員や登校支援員の採用については、豊見城市で規定している要領(豊見城市会計年度任用職員の任用に関する要領)に基づき面接を行って採用している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○賃金・報酬額等は豊見城市の規則に基づいた算定額であり適正であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については、出勤簿や業務日誌等の書類により確認し適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	豊見城市
------	------

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	3-⑤	英語教育推進事業	新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(3)-ア
担当部課名	教育部 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成25～令和13年度	国際感覚を身に付ける教育の推進
			沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(1)

事業内容
英語への興味・関心を高め、英語の学力向上に繋げるため、中学校へ外国人英語講師を小学校へ日本人英語講師を配置する。

効果発現年度
 当年度 後年度(年度)

実施方法
 直接実施 委託 補助 負担 その他()

		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)	21,975	26,996	28,096	28,771	28,416	
		21,423	25,962	26,663	27,004	27,030	
		▲ 552	▲ 1,034	▲ 1,433	▲ 1,767	▲ 1,386	
		0	0	0	0	0	
		21,423	25,962	26,663	27,004	27,030	
	B. 執行済額		20,703	24,991	24,128	26,217	24,598
	うち交付金充当額		16,562	19,993	19,302	20,973	19,678
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		96.6%	96.3%	90.5%	97.1%	91.0%
	予算の状況の説明 小学校への日本人英語講師配置について、勤務日数が見込みを下回ったため、1,386千円を減額したが、一部不用額が生じた。						

活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)	達成状況			
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	外国人英語講師(ALT)の配置:3人	目標 (3人) 実績 3人	(3人) 3人	(3人) 3人	(3人) 3人
日本人英語講師(JTE)の配置:小学校8校	目標 (8校) 実績 8校	(8校) 8校	(8校) 8校	(8校) 8校	
達成状況説明 外国人英語講師については、年度当初より計画どおり3人の配置ができた。 日本人英語講師派遣については、計画どおり市内小学校全8校に対し講師を配置する事ができた。					

成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)	基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)
		【小学校】英語に対する興味・関心が高まった児童の割合80%以上	目標 () 実績 /	(73%)	(80%)	(80%)
	【中学校】沖縄県学力到達度調査(英語)での県平均正答率との差 +0.0ポイント以上	目標 () 実績 /	(+2.5ポイント)	(+0.0ポイント)	(+0.0ポイント)	()
			-4.1ポイント	-1.1ポイント	+1.2ポイント	

進捗状況説明

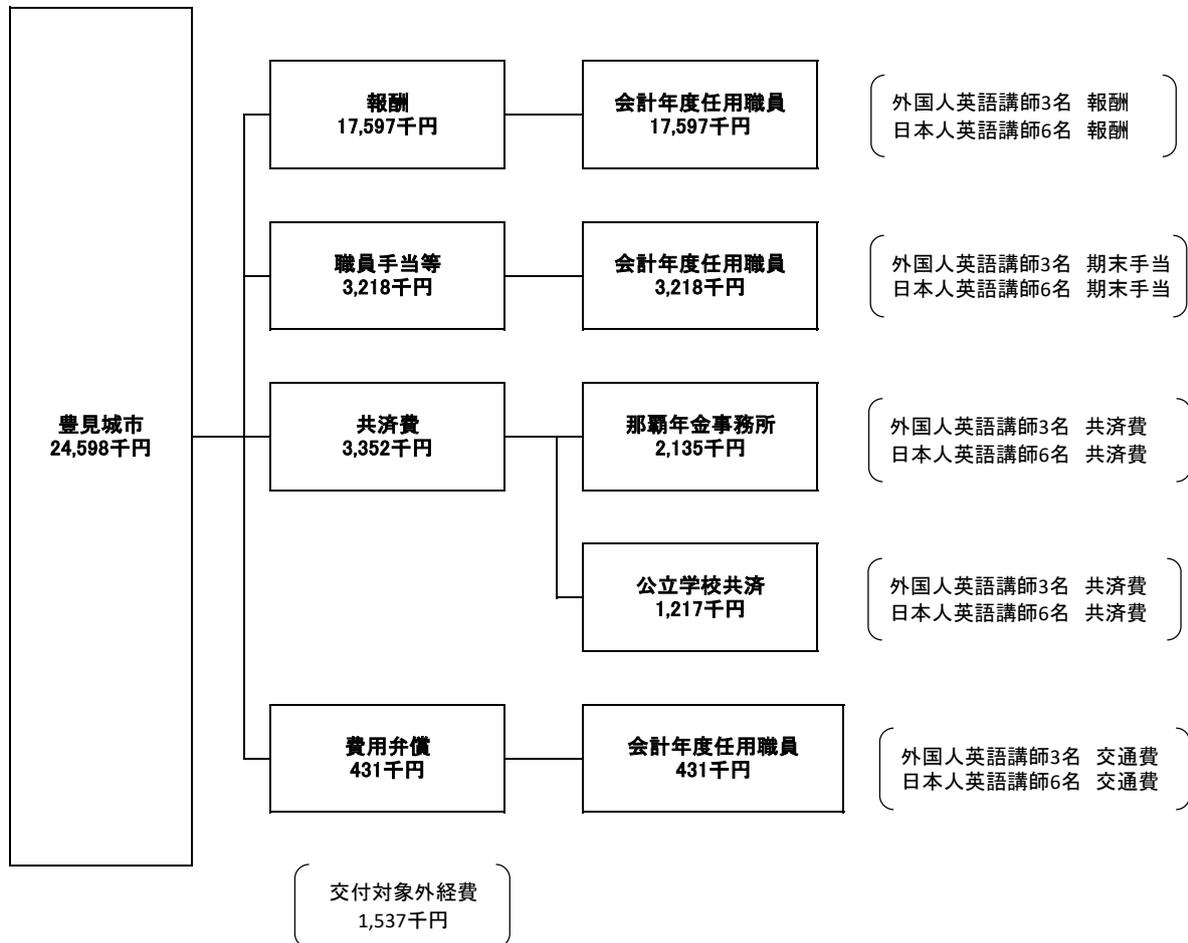
小学校でのアンケート調査では、「外国に行ったとき英語を使ってみよう」とする回答が最も多く、英語の授業で児童の英語への関心を高められていることが感じられるが、目標達成に至っていないことから課題が感じられる。
一方、中学校では1年生が全中学校で県平均正答率を上回っているが、2年生では県平均を下回っている中学校もあることから、到達度にバラつきがみられる。
(中学校) 県平均:43.45ポイント 市平均:44.65ポイント 差+1.2ポイント

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	小学生 日本人英語講師の配置により英会話を中心としたより実践的な授業展開により児童の英語に対する興味・関心が高まってきている。	小学生 教科化となった小学5、6年生を中心に英語講師を配置することにより日常英会話に触れる機会を増やし、国際交流事業ではアメリカンスクールとの交流にも積極的に児童の間に入ってもらう。
	中学生 中学1年生は県平均を上回り、2年生でも県平均を上回る中学校も出てきていることから、英語力の向上が感じられる。	中学生 授業の中でALTとの英会話コミュニケーションの時間を今までよりも確保するなど、授業の進行方法にも工夫を入れ、英検等の各種検定についても積極的な受検を促すなど全体的な学力向上に向けた取り組みが必要と考える。
今後の取り組み方針		
<p>小学生 教科化を受けて担任教諭との連携がより必要となる事から、令和5年度は教育委員会の直接雇用により切り替えており、さらに令和6年度からは全小学校に1人ずつの配置へ増員する事から、英語教育の推進を図る。また、ネイティブスピーカーとの交流の場面では、児童のコミュニケーション力向上に取り組む。</p> <p>中学生 これまでの県学力到達度調査を踏まえ、教育委員会と学校が連携し学力向上施策を進めるとともに、ALTと英語担当教諭とも情報共有を図り、英語学力の向上に取り組む。</p>		

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
26,135	24,598	19,678	4,920	1,537



資金の流れ・ 使途の点検・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○外国人英語講師や日本人英語講師の採用については、豊見城市で規定している要領(豊見城市会計年度任用職員の任用に関する要領)に基づき面接を行って採用している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○賃金・報酬額等は豊見城市の規則に基づいた算定額であり適正であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については、出勤簿や業務日誌等の書類により確認し適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		豊見城市				
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】						
事業番号・事業名	3-⑥		ICT教育推進事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-5-(3)-イ
	担当部課名	教育部 教育総務課		事業実施 (予定)年度	平成24~令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所
事業内容	情報教育指導補助員を配置し、ICT機器を活用した分かりやすい授業を展開することで、教育の質の向上及び児童生徒の学力向上・情報活用能力の向上を図る。また、ICT機器の整備を行う。					
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()					
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)	予算の状況	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
		(a)当初予算額	56,763	46,959	28,413	11,665
	(b)予算現額	78,067	32,039	24,652	28,976	60,989
	(c)増減額(b-a)	21,304	▲14,920	▲3,761	17,311	▲12,981
	(d)繰越額	0	0	0	0	0
	A.計(b+d)	78,067	32,039	24,652	28,976	60,989
	B.執行済額	76,239	28,321	20,399	26,896	60,491
	うち交付金充当額	60,991	22,657	16,319	21,516	48,393
	次年度繰越額	0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)	97.7%	88.4%	82.7%	92.8%	99.2%
予算の状況の説明	教師用タブレットPC・電子黒板等のICT機器の整備については、入札に伴う執行残が生じたため12,981千円減額した。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R5活動目標(指標)	達成状況				
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	情報教育指導補助員派遣数:4人	目標	(3 人)	(11 人)	(5 人)	(4 人)
		実績	3 人	8 人	5 人	4 人
	アクセスポイント整備:2台	目標	()	()	()	(2 台)
		実績				1 台
	電子黒板整備:63台	目標	(15 台)	(8 台)	(5 台)	(63 台)
		実績	15 台	8 台	6 台	63 台
	教師用タブレットPC端末整備:23台	目標	()	()	(12 台)	(23 台)
		実績			12 台	23 台
デジタル教科書整備(小学校):8校	目標	()	()	()	(8 校)	
	実績				8 校	
デジタル教科書整備(新設中学校):1校	目標	()	()	()	(1 校)	
	実績				1 校	
達成状況説明	情報教育補助員については、4人体制で小中学校への支援を行った。 アクセスポイント整備1台行った。(随意契約) 電子黒板:63台、教師用タブレットPC端末整備:23台について整備を行った。(指名競争入札) デジタル教科書整備:小学校8校・新設中学校1校について整備を行った。(随意契約)					
R5成果目標(指標)		基準値 (年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (年度)
		目標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)
教員にアンケート調査を実施し、情報教育指導補助員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったと答えた割合(80%以上)を含め、本事業のあり方について検討する。	実績		93.91%	88.26%	90.03%	

成果目標 (指標) 及び進捗状況	児童生徒にアンケート調査を実施し、ICTを活用した授業が分かりやすかったと答えた割合(80%以上)を含め、本事業のあり方について検討する。	目標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
		実績		88.68%	92.18%	92.80%	
進捗状況説明	<p>教員へのアンケート結果 教員に対するアンケートを実施した結果、自身のICT機器の習熟度が上がったと答えた教員は90.03%となり目標達成となった。</p> <p>児童生徒へのアンケート結果 児童生徒に対するアンケート結果は小学校で838人にアンケート調査を実施した結果、92.1%の児童がICTを活用した授業が分かりやすかったと答えた。中学校では、122人中、94.3%の生徒がICTを活用した授業が分かりやすかったと答えた。</p>						

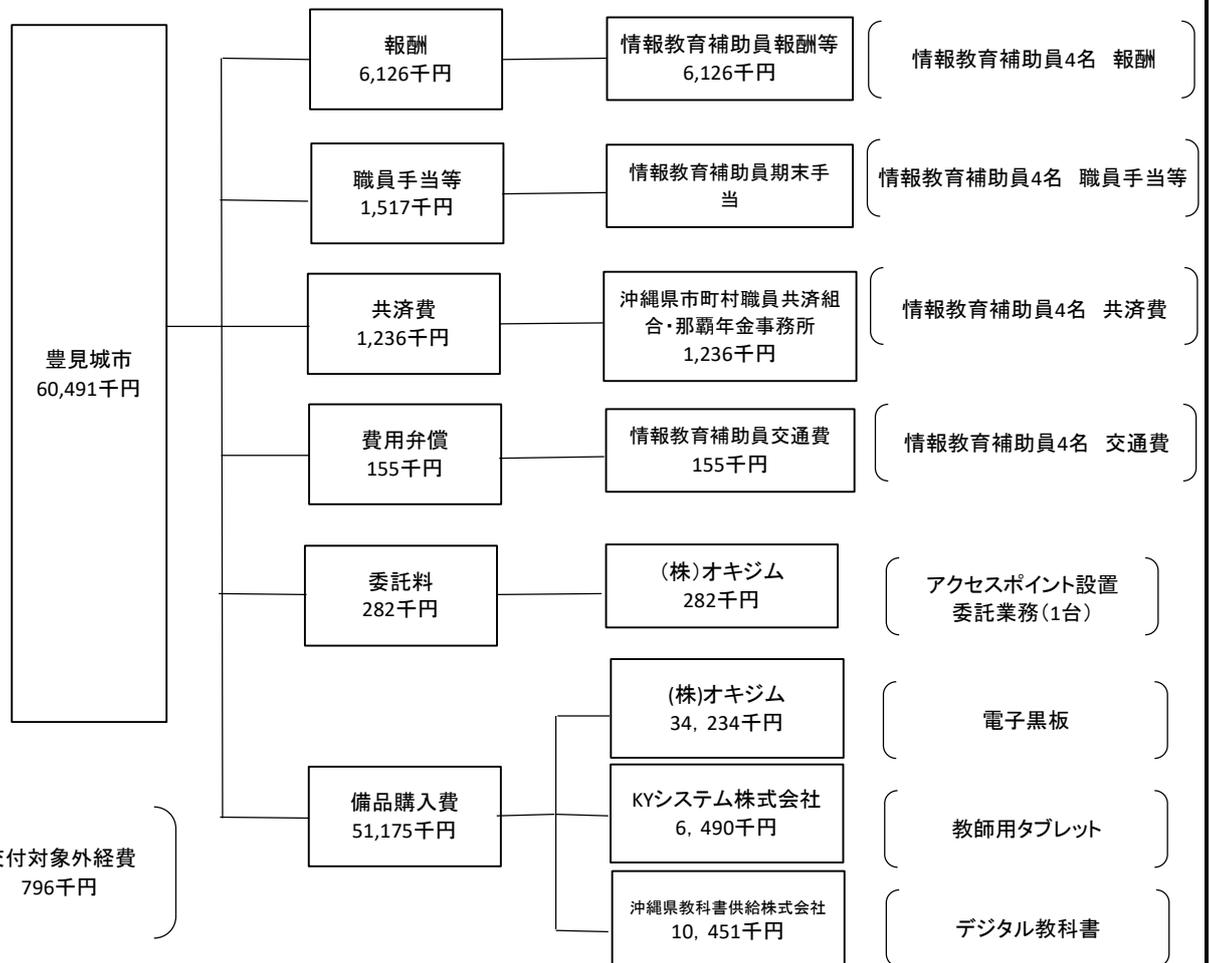
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>R5年度は教員のICT機器の習熟度はあがったと回答した教員は90.03%と目標値である80%は超えている。</p> <p>小中学校のアンケート結果で、ICT機器を活用した授業がわかりやすかったと回答した児童生徒は、92.8%と前年度に比べ上がっている。これは教員がICT機器を利用した授業を積極的に行っている結果だと考えられる。</p> <p>今後も教員のスキルアップが図れるよう、研修会の実施や各学校での情報教育指導補助員のサポートが必要と考える。</p> <p>アクセスポイント整備台数は当初2台を予定していたが、教室増が1教室だったので1台のみの整備となった。</p>	<p>今後は、教員のスキルの維持・向上及びサポートを引き続き行うほか、児童生徒に対しても操作支援を行うことで、学習用端末の基本操作の習熟を図り、今後はそれを基にしたインターネット検索等で正確性、信頼性のある情報を見極めて利活用を高めていく必要がある。</p>

今後の取り組み方針

学習用端末や電子黒板等の充実を図るとともに、教員へのICTを利用した授業では不可欠な内容であるITリテラシー向上に向けた研修会等を実施する。また、児童生徒に対しても、今後も学習用端末の操作支援を行い、ITリテラシーの理解を深め、正確性、信頼性のある情報を活用し、情報社会に対応できる人材を育成を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
61,287	60,491	48,393	12,098	796



資金 用途の 流れ、 費目・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○情報教育指導補助員の採用については、豊見城市で規定している要領(豊見城市会計年度任用職員の任用に関する要領)に基づき面接を行って採用している。</p> <p>○備品購入は指名競争入札により適正に選定している。</p> <p>○備品購入先は指名競争入札により選定しており、賃金・報酬額等は豊見城市の規則に基づいた算定額であり適正であった。</p> <p>○費目・用途については、事業目的達成のために必要であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	豊見城市
------	------

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	3-⑦	児童生徒派遣費補助事業(部活分)	新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(2)-ウ
担当部課名	教育部 学校教育課	事業実施(予定)年度	平成25~令和13年度	個性を伸ばし、自立に向けた資質・能力を伸ばす教育の推進
			沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(1)

事業内容 県外及び離島で開催される部活動における大会等及び選抜選手による合同練習に参加する児童生徒に対し、派遣費の補助を行う。

効果発現年度 当年度 後年度(年度)

実施方法 直接実施 委託 補助 負担 その他()

		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	(a) 当初予算額	4,480	2,520	2,520	2,520	5,076
	(b) 予算現額	5,276	0	324	298	4,155
	(c) 増減額(b-a)	796	▲2,520	▲2,196	▲2,222	▲921
	(d) 繰越額	0	0	0	0	0
	A. 計(b+d)	5,276	0	324	298	4,155
	B. 執行済額	4,891	0	324	297	2,741
	うち交付金充当額	2,345	0	259	237	2,193
	次年度繰越額	0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)	92.7%	0.0%	100.0%	99.7%	66.0%
	予算の状況の説明	派遣見込人数の見直しを行い、921千円減額したが、実際の派遣人数が見込人数を更に下回ったため、一部不用額が生じた。				

R5活動目標(指標)	達成状況				
	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
児童生徒等派遣費の一部を補助	目標	(派遣費の一部補助)	(派遣費の一部補助)	(派遣費の一部補助)	(派遣費の一部補助)
	実績	派遣費の一部補助	派遣費の一部補助	派遣費の一部補助	派遣費の一部補助
活動目標(指標)及び達成状況	目標	()	()	()	()
	実績				
達成状況説明	15件の競技大会にかかる派遣費を補助する事ができた。				

R5成果目標(指標)	基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)
対象児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、児童生徒へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	目標	(80%)	(80%)	(80%)	()
	実績	/	100%	100%	100%
成果目標(指標)及び進捗状況	目標	()	()	()	()
	実績	/			

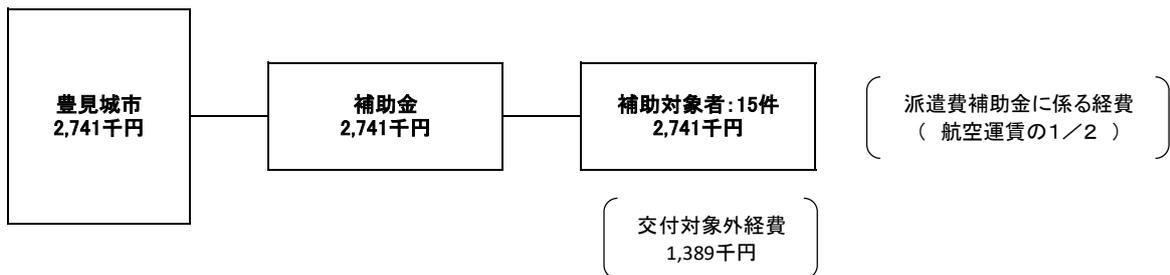
進捗状況説明	15件の競技大会にかかる派遣費補助を行い、派遣対象生徒に対し貴重な経験を得る機会に役立てることができた。対象児童の視野が広がったかについて、派遣対象児童にアンケートを実施したところ、「技術面に関する課題が見つかった」「精神面において、学ぶものがあつた」等に対し「はい」と100%の回答を得ることができた。
--------	--

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	新型コロナウイルスの影響が弱まってきたことで、様々な部活動において大会が本格的に再開されるようになった。そのことにより、よりレベルの高い大会から得られる経験の蓄積が、児童生徒達の競技レベルアップに繋がっている。	離島・県外共に、大会派遣後のアンケートをみると、派遣された児童生徒の全てが、課題の発見、気づき・学びを得られ、自己の成長を実感しており、適切に事業が実行できていると考えられる。そのことから、引き続き現行の方法で事業を実施し、児童生徒達の成長に繋がるよう取り組んでいく。

今後の取り組み方針
令和5年度より、児童生徒の派遣大会参加の費用負担を軽減し、派遣機会を拡大するため、県外だけではなく離島で開催される大会も対象に含め、引率する外部指導員の渡航運賃の補助も行っている。令和6年度も引き続き児童生徒・外部指導者への派遣費補助を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
4,130	2,741	2,193	548	1,389



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助要綱に沿った事業執行であるため補助先の選定方法は妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○派遣は予選大会の結果によるため派遣人数の見込みが難しく、派遣が予想される大会分の予算計上は必要であるため、予算規模は適正であったと考える。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○交付要綱に基づいた支出となっているため、受益者との負担関係は妥当である。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○補助要綱に沿った支出であり費目・使途は適正である。

市町村名	豊見城市
------	------

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	3-⑧	児童生徒等派遣費補助事業(部活外)	新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(2)-ウ
担当部課名	教育部 生涯学習振興課	事業実施(予定)年度	平成25～令和13年度	個性を伸ばし、自立に向けた資質・能力を伸ばす教育の推進
			沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(1)

事業内容
市内在住の児童生徒及びその指導者が、県内離島及び県外等で開催される運動競技及び文化関係大会に参加する際の派遣費用の一部を補助する。

効果発現年度
 当年度 後年度(年度)

実施方法
 直接実施 委託 補助 負担 その他()

		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況					
	(a) 当初予算額	5,400	5,400	5,400	5,400	6,264
	(b) 予算現額	6,542	1,440	3,240	6,649	6,264
	(c) 増減額(b-a)	1,142	▲ 3,960	▲ 2,160	1,249	0
	(d) 繰越額	0	0	0	0	0
	A. 計(b+d)	6,542	1,440	3,240	6,649	6,264
	B. 執行済額	4,811	372	2,028	4,754	5,021
	うち交付金充当額	3,848	297	1,622	3,803	4,017
	次年度繰越額	0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)	73.5%	25.8%	62.6%	71.5%	80.2%
予算の状況の説明	コロナの影響もほぼ無くなり各種大会が盛んに開催され、予算の執行額、予算執行率ともにR4年度を上回った。					

R5活動目標(指標)	達成状況				
	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
児童生徒派遣費補助費の一部(航空運賃80%)を補助	目標	(派遣費の一部助成)	(派遣費の一部助成)	(派遣費の一部助成)	(派遣費の一部助成)
	実績	派遣費の一部助成	派遣費の一部助成	派遣費の一部助成	派遣費の一部助成
	目標	()	()	()	()
	実績				
達成状況説明	昨年度に引き続き市広報で周知を図ることで、児童生徒派遣費補助事業の認知度がかなり浸透してきており、補助額の増加となる派遣費補助事業を行うことが出来た。				

R5成果目標(指標)		基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)
	補助対象者の視野が広がったか(80%以上)を含め、児童生徒へアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	目標	()	(80%)	(80%)	(80%)
実績			98.68%	99.61%	100%	
成果目標(指標)及び進捗状況	目標	()	()	()	()	()
	実績					

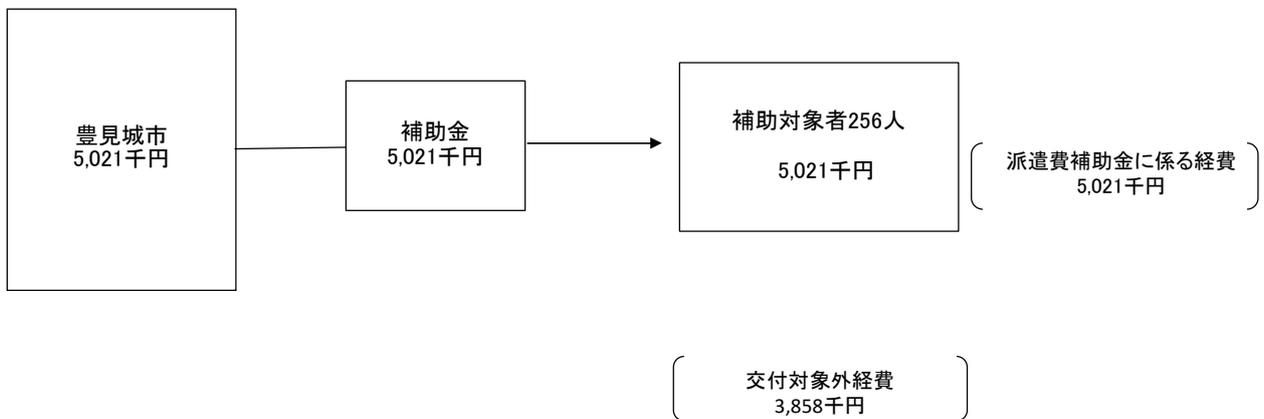
進 捗 状 況 説 明	<ul style="list-style-type: none"> ・派遣補助児童生徒を対象にアンケートを実施したところ100%の児童が、大会に出場することで自身の課題点やストロングポイントが明確になり、心身ともに成長したとの回答を得ることができた。 (児童生徒の感想一例) ・県外の選手は技術面だけでなく、あいさつやふるまいでも参考になる部分が沢山あった。
----------------------------	--

取 組 の 検 証	推 進 上 の 留 意 点 (推 進 上 の 問 題 、 外 部 環 境 の 変 化)	改 善 余 地 の 検 証 (効 率 の 更 な る 向 上 の 視 点)
	R5年度は新型コロナウイルスへの扱いが5類相当に移行し、各種大会等が頻繁に開催されたことで、全国レベルの選手と試合することができ、児童生徒の体力向上、競技力向上につながった。また、今年度から指導者も補助対象とし、保護者等の負担のみならず、指導者の負担も軽減することができた。	県外大会派遣後のアンケートから、派遣された児童生徒の全員が、課題の発見や自己の成長を実感しており、適切な事業の執行ができていことから、引き続き現行の方法で事業を継続していく。

今 後 の 取 り 組 み 方 針		
引き続き広報紙やホームページによる周知や学校への案内、派遣がかかった大会主催者及び申請した保護者の方々にも、チーム内及び知人等への派遣費補助の情報共有をお願いしていく。また、児童生徒または引率者が大会に集中できるように、適切で迅速な窓口業務に従事し、保護者、指導者等の疑問や不安を少しでも減少させる。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
8,879	5,021	4,017	1,004	3,858



資 金 の 流 れ 、 費 目 ・ 使 途 の 点 検 評 価	評 価	点 検 項 目	評 価 に 関 す る 説 明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助(支出先)は交付要綱に沿って行っており、選定方法は適正である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○派遣は予選大会の結果によるため派遣人数の見込みが難しく、派遣が予想される大会分の予算計上は必要であるため、予算規模は適正であったと考える。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○交付金での対象は、航空運賃1/2であり、それ以外については、市負担、保護者負担となっているため、受益者との負担関係は妥当である。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○補助は交付要綱に沿って行っており、費目・使途は適正である。

市町村名	豊見城市
------	------

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	3-⑨	青少年国際交流事業	新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(3)-ア
担当部課名	教育部 生涯学習振興課	事業実施(予定)年度	平成25～令和13年度	国際感覚を身に付ける教育の推進
			沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(1)

事業内容
 青少年リーダーとして国際的視野を広めさせ、国際化時代に対応し得る青少年の育成を図るため、市内在住の中学生をハワイ州へ派遣する。

効果発現年度
 当年度 後年度(年度)

実施方法
 直接実施 委託 補助 負担 その他()

		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況					
	(a) 当初予算額	7,419			8,857	14,136
	(b) 予算現額	7,419			777	13,698
	(c) 増減額(b-a)	0			▲ 8,080	▲ 438
	(d) 繰越額	0			0	0
	A. 計(b+d)	7,419			777	13,698
	B. 執行済額	6,945			761	13,553
	うち交付金充当額	5,556			609	10,841
	次年度繰越額	0			0	0
	執行率(%) (B/A)	93.6%	#DIV/0!	#DIV/0!	97.9%	98.9%
予算の状況の説明	事業計画通りに執行した。					

R5活動目標(指標)	達成状況				
	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
市内中学生14名をハワイ州へ派遣	目標	()	()	(20名)	(14名)
	実績			15名	14名
報告会の開催(1回)	目標	()	()	(1回)	(1回)
	実績			1回	1回

達成状況説明
 ・R5年度は目標どおり14人の団員(生徒)を交流事業に参加させることができた。
 ・帰国後は、報告会を開催し、生徒自身が保護者をはじめとした関係者の前で研修内容を報告することにより、リーダーとして向上心や積極性をアピールできる機会を設けることができた。

R5成果目標(指標)		基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)
派遣後、団員アンケートを実施し「将来、国際関係の仕事をしたまたは国際科に進学したい」と回答した割合(80%以上)を含め、本事業のあり方を検証する	目標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
	実績		-	67%	79%	
成果目標(指標)及び進捗状況	目標	()	()	()	()	()
	実績					

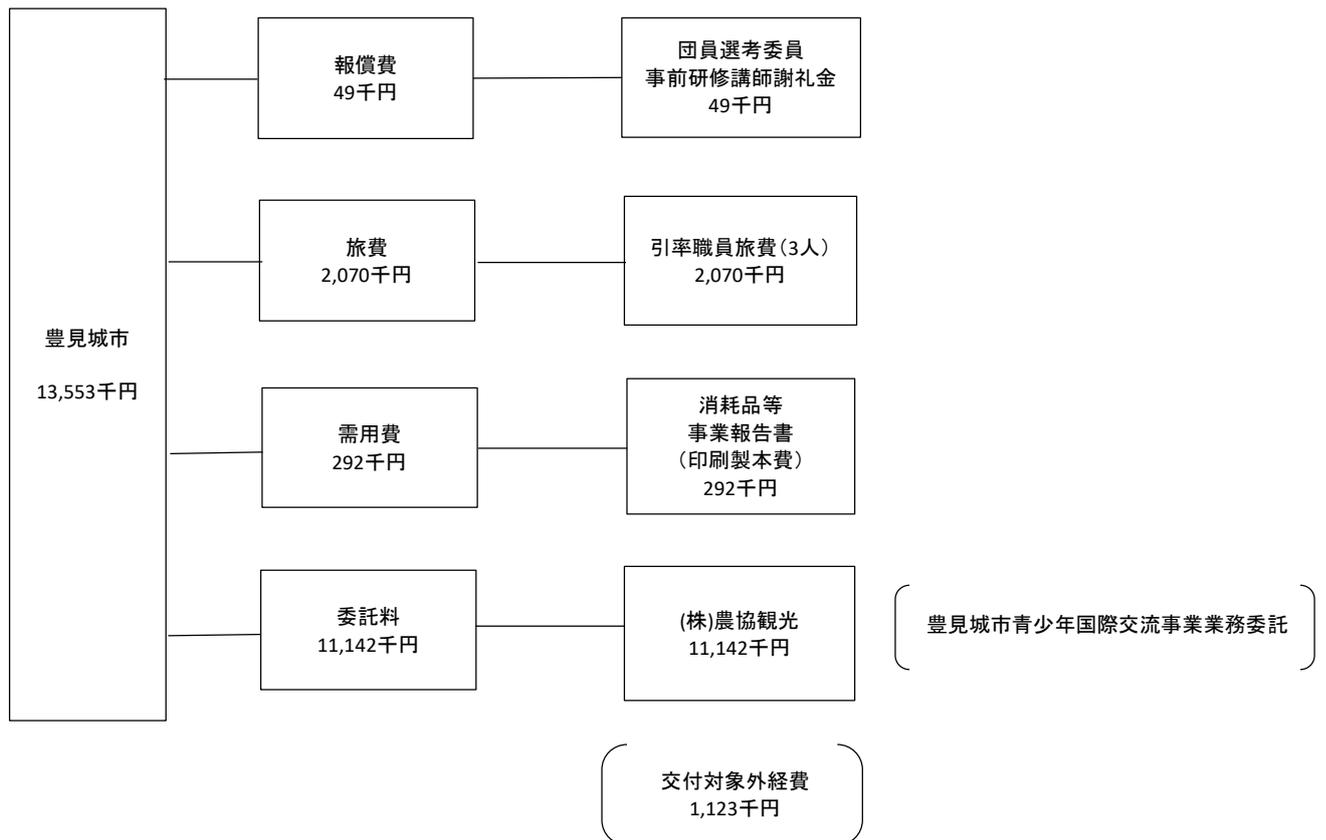
進捗状況説明	<p>・R5年度は、成果目標の80%に対し79%と概ね達成できており、平成30年度(58%)、令和元年(67%)、令和4年度(67%)より増加しているため一定の成果は得られたと考える。</p> <p>・海外派遣に参加すると、自らの地域(沖縄県・豊見城市)の文化、歴史、産業のことを十分に知っていないということを自覚し、帰国後、海外での経験や報告会等を通して自らの地域を国際的な視点で知ろうという意識が高まる傾向にある。</p>
--------	---

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・事業に参加した生徒やその親族が報告会に参加するなど交流事業の有効性を発信することにより、国際交流事業に興味・関心がある生徒が増加している。</p> <p>・上記の一方で、実際に海外に行くと、自らの地域(沖縄県・豊見城市)の文化、歴史、産業のことを十分に知っていないということを自覚し、交流(帰国)後、海外での経験や報告会等を通して自らの地域を知ろうという意識が広まりつつある。また、交流事業へ参加した生徒が、将来的にその経験やスキルを地域に還元できるような道筋を作っていくことが課題となっている。</p>	<p>・国際交流においてコミュニケーション能力を高めるために語学(英語)能力も一つの重要な要素ではあるが、それと同時に地元地域の文化、歴史、産業等を通して育つ自らのアイデンティティを高めていくことが重要な課題であり、派遣団員の選考方法や海外派遣の事前研修において課題に取り組む必要がある。</p>

今後の取り組み方針
<p>・派遣団員選考試験に、英語試験(リスニング・筆記)及び作文「国際交流を通して私の目指す地域貢献活動」等を取り入れ、語学だけではなく、地元地域について考え交流事業の経験が将来的に地域振興に活かせるような選考テーマを採用できるか検討する。</p> <p>・団員派遣前の事前研修において、地元地域の文化、歴史、産業等を通して団員自身のアイデンティティを育てるプログラムを検討する。</p>

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金	市町村負担金	
14,676	13,553	10,841	2,712	1,123



資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、指名競争入札にて選定しており、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、事業者からの見積を参考に、仕様の内容に応じて積算しており、適正であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○参加料及び委託料等の受益者負担割合は適していたと考える。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○使途については精算段階で検査を実施しており、目的を実施するため必要なものであったと考える。

市町村名	豊見城市						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-⑩	お仕事体験事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(11)-ウ	
担当部課名	総務企画部 商工観光課	事業実施(予定)年度	平成30~令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	若年者の活躍促進		
事業内容	豊見城市内の小中学生等に様々な職業を疑似体験させる事により、早期からの就労に対する意識付けや、将来の職業観を育むことを目的とする。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	2,000			2,000	2,000
		(b) 予算現額	2,000			2,000	2,000
		(c) 増減額(b-a)	0			0	0
		(d) 繰越額	0			0	0
		A. 計(b+d)	2,000			2,000	2,000
	B. 執行済額		2,000			1,869	1,845
	うち交付金充当額		1,599			1,495	1,476
	次年度繰越額		0			0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	93.5%	92.3%
予算の状況の説明		事業計画通りに執行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	年1回の事業実施	目標	()	()	(年1回)	(年1回)	
		実績			年1回	年1回	
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	令和6年1月21日(日)に豊見城市民体育館の屋内、屋外へブースを設置して事業実施。体験できる事業所数は30、来場者数は児童とその保護者を含め総合計で1,196名となり、児童1人あたり平均4.5回のお仕事体験を行うことができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)
	就業意識が向上したか(85%以上)を含め、イベントに参加した児童生徒へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	目標	()	()	(80%)	(80%)	()
		実績			99%	93.50%	
		目標	()	()	()	()	()
実績							

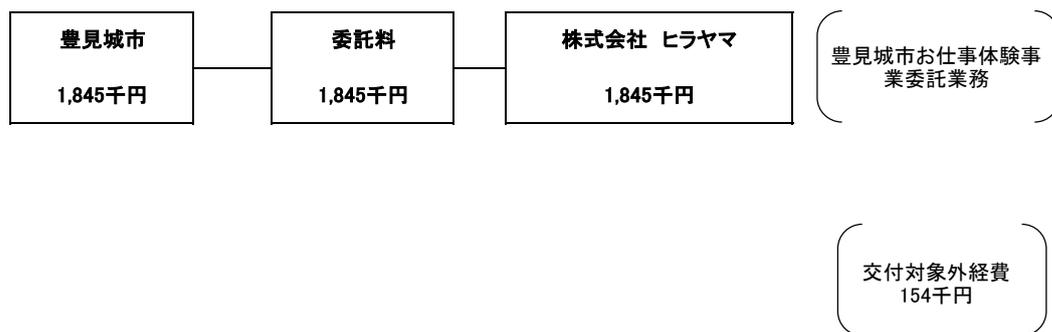
進捗状況説明	満足度について、児童生徒用、保護者用、出展者用の3種類のアンケートを実施した。 児童生徒については、「働くことに興味は湧きましたか」の設問に対し「興味が湧いた」の回答が93.5%となり、夢や希望を持ちつつ、就業意識を向上させることにつながった。
--------	---

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・webでの事前予約制としたため混雑緩和につながったが、各時間帯での順番予約制としたため先着順となり、希望のお仕事を体験できなかったという意見が見られた。	・できる限り希望の体験ができるよう体験ブースの拡張や、予約方法などの改良などを検討したい。

今後の取り組み方針
児童や保護者のみならず、事業者や関係機関と連携を密にとり、体験ブースの拡張、体験内容の充実、予約方法の改善など、更なる満足度と有益性の向上につながるような取り組みを行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
1,999	1,845	1,476	369	154



資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、プロポーザル方式で選定しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模は、事業者からの見積りを参考に積算を行っており、適正なものである。 ○費目・用途については、実績報告等をもとに確認しており、目的に即し、必要なものであると判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	豊見城市
------	------

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	4-①	デジタル博物館事業	新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-1-(4)-ア
担当部課名	教育部 文化課	事業実施(予定)年度	令和2~令和11年度	沖縄文化の継承・発展・普及
			沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(3)

事業内容
地域の歴史・文化に育まれた地域知的資産情報(文化財、博物館資料、写真資料、口承文芸資料等)に常時アクセスできる環境を整え各種webページで公開し、市民・学校・観光客等に豊見城市の魅力を発信するとともに地域文化の振興に寄与する。

効果発現年度
 当年度 後年度(年度)

実施方法
 直接実施 委託 補助 負担 その他()

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a) 当初予算額	31,994	47,185	68,920	40,191	
		(b) 予算現額	31,994	47,185	67,960	39,248	
		(c) 増減額(b-a)	0	0	▲ 960	▲ 943	
		(d) 繰越額	0	0	0	0	
		A. 計(b+d)	31,994	47,185	67,960	39,248	
	B. 執行済額		31,657	46,834	67,858	38,962	
	うち交付金充当額		25,325	37,467	54,286	31,169	
	次年度繰越額		0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)		98.9%	99.3%	99.8%	99.3%	#DIV/0!
	予算の状況の説明		適正な積算と計画の結果、事業計画通りに執行を行えた。				

活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)	達成状況			
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
R2・R3 収蔵アナログ写真資料のデジタル化作業	目標	(100,000点)	(100,000点)	()	()
	実績	100,000点	100,000点		
R2・R3 収蔵品写真撮影	目標	(1,050点)	(4,050点)	()	()
	実績	1,050点	4,050点		
R3 民話資料データ化	目標	()	(650話)	()	()
	実績		658話		
R4 電子情報連携発信	目標	()	()	(1,025件)	(1,025件)
	実績			1,025件	3,025件
R4 歴史資料の電子化	目標	()	()	(80,000点)	(3,201点)
	実績			111,438点	12,225点
R4 電子地図系コンテンツ作成	目標	()	()	(4件)	(4件)
	実績			7件	5件
地域資料収集作業	目標	(7地域)	(8地域)	(5地域)	(2地域)
	実績	7地域	8地域	5地域	2地域
達成状況説明	歴史資料の電子化は、戦後の文書資料のテキストデータ化等を約1万2千点の電子化を実施した。電子情報連携発信は、文化財標柱のQRコード設置とパンフレットを3,000部発行し、情報連携発信を3,025件完了した。地域資料収集作業は、地域の自治会と協働の上で収集作業にあたり、自治会や個人提供の写真と情報を集約した。電子地図系コンテンツは基盤マップ1件、集落復元2件、史跡復元2件の計5件完了した。				

R5成果目標(指標)		基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値
		R3 収蔵アナログ写真資料のデジタル化作業の完了 R3 収蔵品写真撮影の完了	目標 実績	()	(100,000点)	()
	目標 実績	()	(4,050点)	()	()	()
	目標 実績	()	(4,050点)	()	()	()

成果目標 (指標) 及び進捗状況	R3 民話資料データ化の完了	目標	()	(650話)	()	()	()	
		実績		658話				
	R3 地域資料収集作業の完了	目標	()	(8地域)	()	()	()	
		実績		8地域				
	R4 地域資料共有報告書発行	目標	()	()	(5種類)	(2種類)	()	
		実績			5種類	2種類		
	R3 ホームページの公開 R4 webサイトアクセス数	目標	()	(公開)	(60,000回/年)	(66,000回/年)	()	
		実績		公開	64,137回/年	68,300回/年		
	進捗状況説明	地域資料共有報告書については、地域と協議の上実行し、計画通り2種類の発刊を達成した。ホームページの公開については、ポータルサイト「とみぐすくデジタルアーカイブ」を公開開始し、個別のコンテンツサイトも継続してそれぞれ稼働し着実にアクセス数が推移し、目標値を達成した。						

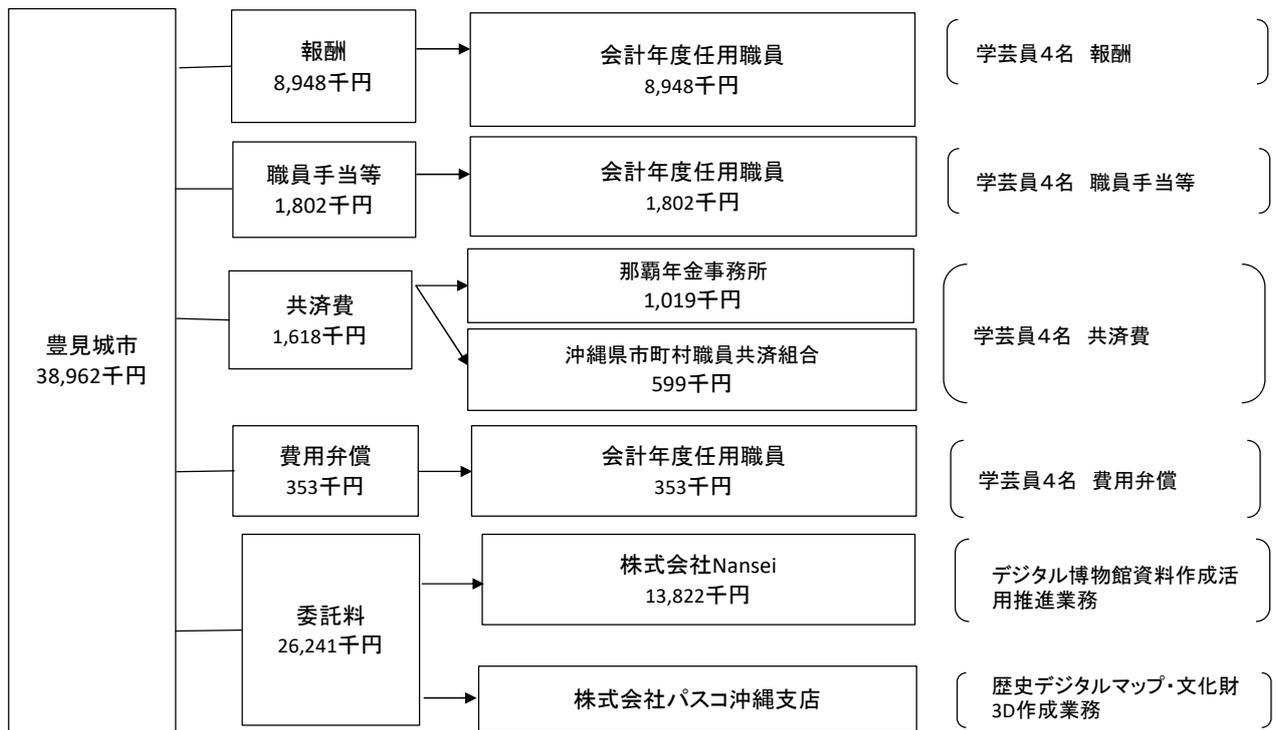
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 電子連携対象の文化財選定の際、一字地域では文化財標柱の数量が少ないため、広域に検討する必要がある。 地域資料共有報告書(写真集)の調査において、地域の実情によって調査対応の手法が異なる。 電子化後のデータ整理には収納情報や順番等の情報が失われる可能性があり、資料電子化前の基礎整理が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> 調査対象地域以外の広域の文化財も選定対象とすることで、目標の数量を達成した。 多様な調査方法を検討し、地域住民と綿密に調整を行って事業を進める。 今後、電子化するアナログ資料については、計画的に基礎整理を行っていく。

今後の取り組み方針

- 適切な調査方法や対象地域拡大など柔軟な対応で市民協働の事業進捗に努める。
- ホームページの公開コンテンツを充実させ、効果的な公開・広報活動を行っていく。
- 対面イベントを増加させ、体験の質の高い発信活動を実施していく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
38,962	38,962	31,169	7,793	0



資金の 用途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、公募型プロポーザル方式によって適切に選定している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は、適切に予算を設定している。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○予算の費目・用途については、事業に必要最低限に設定し、執行している。委託業務完了段階で検査を行っており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	豊見城市
------	------

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	5-①	サッカーキャンプ誘致推進事業	新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(9)-ア
担当部課名	教育部 生涯学習振興課	事業実施(予定)年度	令和1~令和13年度	スポーツ関連産業の振興と地域の活性化
			沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)

事業内容
サッカーキャンプ受入に必要な芝生の維持管理委託を行い、サッカーキャンプ誘致に向けた施設の受入体制を構築することで継続的なサッカーキャンプ誘致を実現する。

効果発現年度
 当年度 後年度(年度)

実施方法
 直接実施 委託 補助 負担 その他()

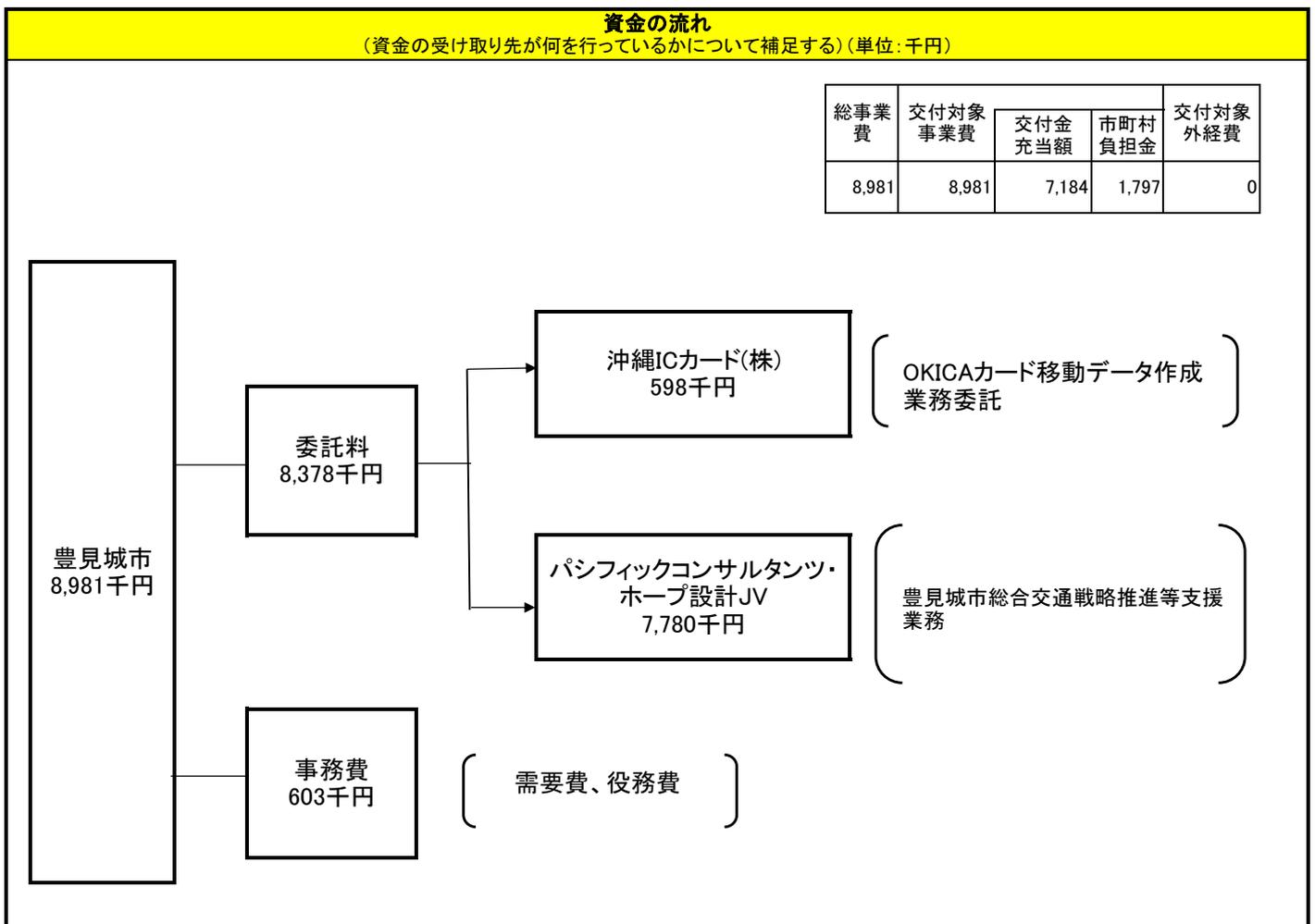
		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a) 当初予算額	11,330	14,740	14,740	14,190	14,300
		(b) 予算現額	9,790	14,740	14,740	15,136	14,300
		(c) 増減額(b-a)	▲1,540	0	0	946	0
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
		A. 計(b+d)	9,790	14,740	14,740	15,136	14,300
		B. 執行済額	9,790	14,740	14,740	15,135	14,300
		うち交付金充当額	7,832	11,792	11,792	12,108	11,440
		次年度繰越額		0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
		予算の状況の説明	事業計画通りに執行した。				

活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)	達成状況			
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
サッカーキャンプ受入に必要な芝生の維持管理	目標	芝生の維持管理及び草種変更	芝生の維持管理及び草種変更	芝生の維持管理及び草種変更	芝生の維持管理
	実績	芝生の維持管理及び草種変更実施	芝生の維持管理及び草種変更実施	芝生の維持管理及び草種変更実施	芝生の維持管理
プロチームへの誘致活動	目標	()	()	プロチームの視察の受入実施	プロチームの視察の受入実施
	実績			プロチームの視察の受入未実施	プロチームの視察の受入未実施
環境整備のための要望調査	目標	()	()	チームの要望(に応じた環境整備)	チームの要望(に応じた環境整備)
	実績			チームに要望を確認し、環境整備を行いキャンプ実施に繋がった	チームに要望を確認し、環境整備を行いキャンプ実施に繋がった
県内の先進自治体視察及び情報収集	目標	()	()	県内担当者会議(議における情報収集)	県内担当者会議(議における情報収集)
	実績			県内担当者会議にて先進自治体の事例を確認する	県内担当者会議にて先進自治体の事例を確認する
達成状況説明	<p>サッカーキャンプの受入れに必要な芝生の維持管理を通常のサッカー利用と併せて年間を通して実施した。令和元年度から継続して受け入れているチームは、芝生の状態及び備品整備を称賛しており、継続利用の実現に寄与している。プロチームへの誘致活動及び環境整備のための要望調査について、本市施設にてキャンプを継続して実施しているチームにキャンプ環境に対する要望を確認し、キャンプに必要な環境を整え、継続した実施に繋がった。</p> <p>県内自治体の情報収集については、担当者会議にて各自治体の取組みを確認し、キャンプ時に市のガイドブックを観客向けに配布して市のPRを行った。</p>				

市町村名	豊見城市						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	⑥-1	豊見城市総合交通戦略推進等支援事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(12)-(エ)		
担当課名	都市計画部 都市計画課	事業実施(予定)年度	令和5~令和9年度	沖縄振興基本方針該当箇所	シームレスな交通体系の整備		
事業内容	需要調査等を実施し、協議会と連携して本市の特性に即した交通網を確立することで、公共交通不便地域における公共交通の利便性向上を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	11,352				
		(b) 予算現額	8,984				
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 2,368				
		(d) 繰越額	0				
		A. 計 (b+d)	8,984				
	B. 執行済額		8,981				
	うち交付金充当額		7,184				
	次年度繰越額		0				
	執行率 (%) (B/A)		100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明		事業計画通りに執行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
	委託事業者の選定・契約締結	目標	(締結)	()	()	()	
		実績	締結				
	アンケートを市内全世帯に配布	目標	(配布)	()	()	()	
		実績	配布				
	タクシーの利用を通して調査実施	目標	(実施)	()	()	()	
		実績	実施				
	アンケート結果を取りまとめ協議会にて協議を行い、課題等を整理する	目標	(実施)	()	()	()	
		実績	実施				
需要調査報告書作成	目標	(作成)	()	()	()		
	実績	作成					
市内小学校での公共交通利用促進に向けた学習の開催	目標	(1回)	()	()	()		
	実績	1回					
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・委託事業者の選定を行い、契約を締結した。 ・アンケートを市内全世帯(26,756世帯)へ配布した。 ・タクシーの利用を通してラストワンマイル交通需要調査を実施した。 ・アンケート結果を取りまとめ、協議会にて協議を行い、課題等を整理した。 ・需要調査の報告書を作成した。 ・市内小学校(豊崎小学校)での公共交通利用促進に向けた学習の開催を実施した。 						

成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値 (年度)	R5年度	R6年度	R7年度	目標値 (年度)
	市内一周線バスの利用者数 前年度比1%増	目標	()	(1% 増)	()	()	()
		実績			10.6% 増		
		目標	()	()	()	()	()
実績							
進捗状況説明	令和4年度市内一周バスの利用者目標値81,114人に対して、令和5年度は、89,742名と目標を上回った。前年度比1%増の成果目標に対して、令和5年度は10.6%増となりR5年度成果目標(指標)を達成することができた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により利用者総数・乗客数が減少していたが、コロナ前の令和元年度実績(80,311人)を超えるまでに回復している。</p>	<p>交通事業者や関係機関の意見を踏まえて具体的な進め方を整理し、利用者の増加に取り組む。 (R6年度のバス利用者の増加に向けた取組) ・上位計画に合わせた市内一周線(105番)バスを幹線系統としての位置づけを明確にする。 ・市内一周線(105番)バスの需要・供給バランス等の分析・ルート検証を行い、バス事業者との協議のため、ルート、時刻等の運行見直し案を検討する。 また、市内一周線(105番)の利用実態等をふまえ、他の路線バスとの関係を踏まえて路線バスの再編案を検討する。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・本市の地域交通課題の解決に向け、引き続き公共交通利用促進に向けた意識啓発、公共交通関係者等で組織する協議会の開催、個別施策の推進や既存公共交通を補う施策を導入し、移動の選択肢を増やすことでバス利用者の増に繋げ、公共交通利用者数全体の底上げと公共交通サービスの充実を図る。</p>		



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、地方自治法施行令第167条の2第1項第2号により随意契約しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○委託事業者は、価格と技術力を総合的に評価して落札者を決定する総合評価方式で選定しており、妥当であったと考えている。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○予算規模については、事業者からの見積りを参考に、使用の内容に応じて積算しており適切であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し必要なものであったと判断した。

市町村名	豊見城市						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-②	低炭素社会構築事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-1-(1)-(ア)	
担当部課名	教育部 生涯学習振興課	事業実施(予定)年度	令和5年度	沖縄振興基本方針該当箇所	脱炭素島しょ社会の実現に向けたエネルギー施策の推進		
事業内容	環境負荷を低減させた省エネルギー化社会を目指し、自然に配慮したまちづくりの推進を図るため、市立中央公民館空調設備の機能強化を行う。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和6年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R5年度				
	予算の状況	(a)当初予算額	43,509				
		(b)予算現額	41,222				
		(c)増減額(b-a)	▲2,287				
		(d)繰越額	0				
		A.計(b+d)	41,222				
	B.執行済額		40,494				
	うち交付金充当額		32,395				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		98.2%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明		入札に伴う執行残が生じたため、2,287千円の減額を行った。					
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
	空調設備の機能強化工事の実施	目標	(実施)	()	()	()	
		実績	実施				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	機能強化工事を令和5年10月19日から工事を実施し、令和6年2月29日に工事完了した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値(年度)	R5年度	R6年度	R7年度	目標値(年度)
	空調設備の機能強化工事の完了	目標	()	(完了)	()	()	()
		実績		完了			
		目標	()	()	()	()	()
		実績					

進捗状況説明	市立中央公民館の空調設備の機能強化(低炭素化)工事を令和5年10月19日から令和6年2月29日までの期間で実施した。予定期間の変更等は無く、予定通り期間内に事業を完了した。
--------	--

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	(低炭素化の実現について) ・目標数値(年間-2%のCO2削減)の実現に向けて、空調の温度設定や今後の使用方法を明確に定めていく。 (外気温の上昇について) ・日本の外気温については、年々上昇傾向にあり、外気温が上がることで、室内温度も上昇することから、室内の温度を保つためには、今以上の電力消費が見込まれる。	(低炭素化の目標達成について) ・空調工事による低炭素化の実績数値を加味し、施設内のLED化や大ホールの低炭素化(空調工事)を入れることを検討していく。

今後の取り組み方針
・空調工事による低炭素化の実績数値を加味し、施設内のLED化を含め、低炭素化に取り組んでいく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
40,494	40,494	32,395	8,099	0



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事請負事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算は、設計業務等積算基準書などより算定していることから、予算規模は事業内容と見合っていると考える。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、用途については、事業目的の観点から額の確定時において支出等に関する書類により確認、適性であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	